

## 目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成17年度主要記事	3
展示事業	4
アート・コレクション	6
県立美術館コレクション展	14
企画展	16
普及事業	17
美術講演会・コンサート	18
ワークショップ・実技講座	19
美術巡りの旅・活動協力	20
情報資料室・美術館諸厚他	21
調査・収集活動	22
貸出資料一覧	23
収蔵資料数一覧	24
17年度収蔵資料一覧	25
管理運営・運営方針	26
組織	27
平成17年度職員・協議会委員	28
利用状況	29
展示室利用面積	30
施設	31
利用案内	32

平成  
17

CHIBA PREFECTURAL MUSEUM OF ART  
千葉県立美術館 年報 No.32

April 2005 — March 2006

ANNUAL BULLETIN OF  
CHIBA PREFECTURAL  
MUSEUM OF ART



## 目 次

あいさつ	1
沿革	2
平成17年度主要記事	4
展示事業	
アート・コレクション	6
県立美術館コレクション展	14
企画展	17
普及事業	
美術講演会・コンサート	20
ワークショップ・実技講座	
美術巡りの旅・活動協力	
情報資料室・美術館講座他	
調査・収集活動	
貸出資料一覧	29
収蔵資料数一覧	31
17年度収蔵資料一覧	32
管理運営・運営方針	
組織	34
平成17年度職員・協議会委員	35
利用状況	36
展示室利用団体	37
施設	39
利用案内	44



## あいさつ

平成17年度の千葉県立美術館における活動の実績を年報としてまとめました。

本館は昭和49年の開館以来、地域美術館及び近代美術館としての活動を通し、県民の皆様のさまざまな美術に対する要望におこたえできるよう努めてまいりました。

平成17年度は企画展として、「近代陶芸の精華 宮之原謙」と県立博物館6館を会場とし、会場館の特性に合わせて作品を選定した「県立美術館コレクション展」を実施しました。また第29回目となる移動美術館については、6館のうちの県立安房博物館で併設開催という形をとりました。

本館が収蔵する作品の展示については、種々のテーマに基づいた収蔵作品による「アート・コレクション展」を年間を通して12回開催し、新たに小テーマ展示を15回行いました。また、県立博物館合同企画展関連事業の「描かれた船」も「アート・コレクション展」の企画のひとつとして実施しました。

このほか、美術についての理解を深め、作品鑑賞の一助とするため、展覧会に関連した美術講演会を開催し、さらに、こどもたちに創作の喜びや美術館活動に対する理解を深めてもらうため「ワークショップ」、「美術館体験学習」、「おもしろ鑑賞教室」などを開催しました。また、ますます高まっている県民の皆様の美術創作への意欲におこたえできるよう美術の各分野にわたる実技講座も実施しました。

作品収集にあたりましては、収集基本方針に基づき、作家や所蔵家の方々の協力を得ながら、コレクションの体系化とその充実を図りました。

今後とも、関係諸機関や各団体をはじめ、県民の皆様方の指導と支援をいただき、ますようお願ひいたします。

平成18年6月

千葉県立美術館長

黒須 健治

## ■沿革

1969年12月9日	第1回千葉県立美術館建設懇談会を開催（委員15名）	その師弟展」を開催
1970年1月19日	県立美術館建設の請願書が2月県議会で採決	寄付によって、正面玄関植栽
1970年7月24日	建設地として千葉公園に内定	彫刻の野外展示開始
1970年11月12日	第1回美術館設置準備専門委員会を開催（委員10名）	展示棟の一室に美術普及室を開設
1971年3月31日	千葉公園内の美術館基本構想成立	外構工事として、駐車場拡張(97台)
1971年6月24日	体育館移転問題等で千葉公園内建設が不可能となる代案として千葉市中央港埋立地を提示	美術普及棟の準備会発足
1972年1月5日	建設地を千葉市中央港の埋立地に決定し、使用について開発庁長と教育長で覚書を交換	美術普及棟建築予算を計上
1972年3月31日	基本設計完了（株式会社大高建築設計事務所）	浅井忠像完成除幕式
1972年7月31日	展示棟第1期工事の実施設計完了	美術普及棟実施設計完了
1972年9月21日	展示棟杭打工事着工	1979年1月8日 美術普及棟を県民アトリエ棟と改称
1972年10月13日	展示棟建築工事請負契約議案可決	1979年3月5日 県民アトリエ棟建築工事請負契約議案可決
1972年12月10日	展示棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1979年3月22日 県民アトリエ棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
1973年4月1日	文化課に美術館準備班を置き、開館事務開始	1980年2月29日 県民アトリエ棟竣工
1973年11月30日	管理棟（第2期工事）の実施設計完了	1980年3月16日 県民アトリエ棟完成記念講演会
1974年3月31日	展示棟竣工	1980年4月1日 千葉県美術品取得基金条例施行
1974年4月1日	千葉県立美術館発足（職員14名）	1980年9月9日 県民アトリエ棟情報資料室開設
1974年10月23日	開館記念式典開催	1983年7月29日 美術普及コーナー開設
1974年10月24日	開館記念展「千葉県美術展覧会」開催一般公開開始	1983年11月12日 開館10周年と県展開催35周年を記念した記念碑建立
1975年2月21日	管理棟杭打工事着工	1986年3月25日 展示棟、収蔵庫、機械室増築工事設計予算化
1975年3月13日	管理棟建築工事請負契約議案可決	1986年4月10日 入口門扉4ヶ所設置
1975年3月16日	管理棟建築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）	1986年4月23日 美術館西側沿道寄り生垣植栽
1976年2月20日	管理棟竣工	1986年8月12日 講堂浸水防止工事完了
1976年3月2日	管理棟完成記念特別展「浅井忠と	1987年3月25日 機械室増築基本設計及び展示棟、収蔵庫、機械室増築工事実施設計完了
		1987年10月15日 展示棟、収蔵庫、機械室増築工事着工（監理・大高建築設計事務所、施工・株式会社竹中工務店）
		1988年5月20日 受水槽設備改修工事（地上式）着工
		1988年8月31日 受水槽設備改修工事（地上式）完了
		1988年8月31日 展示棟（第8展示室）、収蔵庫（第3、4室）、機械室増築工事完了
		1989年2月28日 増築展示棟周辺芝張工事完了

## 東京藝術大学美術館

- 1989年4月1日 普及課が新設され、3課で業務実施
- 1989年4月20日 開館15周年記念特別展「房総と近代美術」を開催
- 1989年9月11日 空調機改修工事実施設計完了
- 1990年6月8日 空調機改修工事完了
- 1990年9月29日 収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事着工
- 1990年11月7日 室内標識改修工事着工
- 1991年1月31日 収蔵庫（第1、2室）冷凍機改修工事完了
- 1991年2月20日 室内標識改修工事完了
- 1991年12月6日 空調用ポンプ改修工事完了
- 1992年4月1日 運営の一部が（財）千葉県社会教育施設管理財団へ委託
- 1992年10月20日 湿湿度記録装置改修工事完了
- 1992年12月18日 食堂改修工事完了
- 1994年7月23日 開館20周年記念特別展「房総の美術」を開催
- 1998年2月23日 ガス設備改修工事完了
- 1998年12月24日 空調設備改修工事完了
- 1999年6月5日 開館25周年記念特別展「ヒューストン美術館展」を開催
- 2000年3月30日 屋根材剥落補修工事完了  
点字ブロック設置工事完了
- 2000年7月31日 文部省委嘱事業「親しむ博物館づくり事業」受託
- 2001年3月29日 屋根材剥落補修工事（第7展示室）完了
- 2002年3月25日 屋根材剥落補修工事（第6展示室）完了
- 2002年3月25日 非常灯用直流電源装置改修工事完了
- 2002年3月25日 防犯カメラ改修工事完了
- 2002年12月20日 直流電源装置蓄電池改修工事完了
- 2003年3月25日 空調設備改修工事実施設計完了
- 2003年7月10日 空調設備改修工事完了
- 2004年4月18日 来館者500万人達成
- 2004年11月27日 開館30周年記念企画展「漁民を描く－渡辺學の世界」開催
- 2005年8月20日 空調用インバータ装置改修工事完了
- 2006年3月21日 電話装置改修工事完了
- 2006年3月31日 アトリエ棟空調機修繕工事完了

## ■平成17年度主要記事

- 4月1日 アート・コレクション「房総と近代美術」  
(～4月24日)
- 4月2日 アート・コレクション「新収蔵作品展」  
(～5月29日)
- 4月12日 アート・コレクション「水彩画の黎明」  
(～5月15日)
- 4月16日 アート・コレクション「戦後の水彩画」  
(～5月15日)
- 4月20日 実技講座「陶芸講座(応用)」(5月19日まで  
日数6日間)
- 4月26日 アート・コレクション「浅井忠の日本画」  
(～5月29日)  
アート・コレクション「浅井忠とバルビゾン  
派」(～10月10日)
- 5月14日 第1回ワークショップ「ウォールペイント・  
ロックペイント」
- 5月17日 アート・コレクション「原勝郎」  
(～6月19日)
- 5月21日 アート・コレクション「鶴田吾郎」  
(～7月10日)
- 5月24日 実技講座「陶芸講座(基礎)」(6月23日まで  
日数6日間)
- 5月31日 アート・コレクション「時田直善」  
(～7月3日)
- 6月4日 アート・コレクション「ガラスの彩り」  
(～8月21日)  
おもしろ鑑賞教室「第1回むじやキック き  
らめき彩り・ガラス絵に挑戦！」
- 6月18日 第2回ワークショップ「県民の日スペシャル  
ワーク・いろいろ作っちゃおう！」
- 6月21日 アート・コレクション「都鳥英喜」  
(～7月24日)
- 7月2日 実技講座「ホリデーアート銅版画講座」(7月  
3日まで 日数2日間)
- 7月5日 アート・コレクション「富取風堂」  
(～8月7日)
- 7月16日 アート・コレクション「水のイメージ」(こど  
ものための展覧会)(～8月28日)
- 7月16日 第3回ワークショップ「ゴンドラ飛行船を作  
ろう！」
- 7月26日 アート・コレクション「石橋武治」  
(～8月28日)
- 8月4日 博物館実習(～8月9日)
- 8月6日 キッズサマーコンサート
- 8月9日 アート・コレクション「若木山」  
(～9月11日)
- 8月11日 教師のためのアートガイダンス
- 8月27日 アート・コレクション「金工の世界」  
(～10月10日)
- 8月30日 アート・コレクション「石井雙石」  
(～10月10日)
- 9月3日 アート・コレクション「劉生と椿貞雄」  
(～10月10日)
- 9月10日 おもしろ鑑賞教室「第2回むじやキック  
芸術の秋・スタンピングコレクション！」
- 9月13日 アート・コレクション「美人画(房総の日本  
画家)」(～10月10日)
- 9月14日 実技講座「版画講座」(9月29日まで 日数  
10日間)
- 9月17日 美術めぐりの旅
- 11月26日 企画展「近代陶芸の精華 宮之原謙」  
(～1月22日)  
第4回ワークショップ「モノレールを楽しも  
う！小さな美術めぐりの旅」
- 12月3日 企画展関連事業「美術講演会」
- 12月10日 企画展関連事業「ミュージアムコンサート」
- 12月17日 企画展関連事業「龍笛の調べ」
- 1月17日 実技講座「金工講座」(2月1日まで 日数  
10日間)
- 1月14日 企画展関連事業「木管五重奏コンサート」
- 1月31日 アート・コレクション「小堀進」  
(～3月5日)  
アート・コレクション「東山魁夷と関主税」  
(～3月19日)
- アート・コレクション「浅井忠とバルビゾン  
派」(～3月31日)
- 1月31日 アート・コレクション「描かれた船」(県博合  
同企画展サテライト展示)(～3月12日)  
アート・コレクション「書の美」  
(～4月9日)
- 2月11日 おもしろ鑑賞教室「第3回むじやキック 墨  
と遊ぼう・墨っ子星人あらわる!？」
- 2月14日 実技講座「篆刻講座」(3月2日まで 日数6  
日間)
- 3月7日 アート・コレクション「深沢幸雄」  
(～4月9日)
- 3月21日 アート・コレクション「石井林響」  
(～4月23日)

□ 展 示 事 業 □

## 平成17年度 アート・コレクション展

### 【第1展示室】

#### 水彩画の黎明

会期 平成17年4月12日(火)～5月15日(日) 30日間

点数 14点

1 浅井 忠	沢入駅	1884
2 浅井 忠	農家	1902
3 浅井 忠	京都高等工芸学校の庭	1903
4 五百城文哉	日光	不詳
5 石井柏亭	病児	1904
6 石井柏亭	舟に居る人	1913
7 石川欽一郎	赤城淡煙	不詳
8 大下藤次郎	紫陽花	1904
9 大下藤次郎	青梅	1904
10 河合新蔵	春の日	不詳
11 坂本繁二郎	海藻採りの海女	1912
12 中林 優	山中湖附近	不詳
13 三宅克巳	小諸城址	1900
14 三宅克巳	ローマ	1920

#### 房総と近代美術 I

会期 平成17年4月12日(火)～7月3日(日) 72日間

点数 8点

##### 〈工芸〉

1 津田信夫	鳳翔薰炉	1937
2 津田信夫	白鳥	1940
3 増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
4 土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	不詳
5 藤田喬平	飾筥・しだれ桜	1985

##### 〈彫刻〉

1 高村光太郎	手	1918
2 新海竹太郎	老馬	1921
3 山本正道	エトルリアの壺	1985

#### 浅井忠の日本画

会期 平成17年4月26日(火)～5月29日(日) 30日間

点数 7点

1 浅井 忠	田植之図	1889
2 浅井 忠	琵琶法師	1890-1897
3 浅井 忠	ほしかき	1890-1897
4 浅井 忠	狂女(付子規句)	1898頃

5 浅井 忠	古城(付子規句)	1898頃
6 浅井 忠	虎図	1902-1907
7 浅井 忠	もろこしと鳳仙花	1902-1907

#### 原 勝郎

会期 平成17年5月17日(火)～6月19日(日) 30日間
点数 12点
1 原 勝郎 街灯のある風景 1930
2 原 勝郎 モンマルトル 1935
3 原 勝郎 横向きの婦人像 1948
4 原 勝郎 コーヒーひき 1949
5 原 勝郎 森(A) 1955
6 原 勝郎 森 1955
7 原 勝郎 森(C) 1955
8 原 勝郎 京橋 1955
9 原 勝郎 樹 1955
10 原 勝郎 窓と静物 不詳
11 原 勝郎 デッサン(F) 不詳
12 原 勝郎 デッサン(H) 不詳

#### 時田 直善

会期 平成17年5月31日(火)～7月3日(日) 30日間
点数 4点

1 時田直善 望洋 1939
2 時田直善 崖の観音 1965
3 時田直善 耀庭 1979
4 時田直善 憶い／鶴その6 1987

#### 都鳥 英喜

会期 平成17年6月21日(火)～7月24日(日) 30日間
点数 9点

1 都鳥英喜 婦人像 1919頃
2 都鳥英喜 八瀬の秋 1929
3 都鳥英喜 巴里郊外サンクール 1920
4 都鳥英喜 男の顔 1908
5 都鳥英喜 洛北の早春 1934
6 都鳥英喜 海浜風景 1909
7 都鳥英喜 舟小屋 1928
8 都鳥英喜 滞船 1933
9 都鳥英喜 村の道 1942

## 平成17年度 アート・コレクション展

富取 風堂

会期 平成17年7月5日(火)～8月7日(日) 30日間  
点数 6点

- 1 富取風堂 雛妓納涼図 1926
- 2 富取風堂 南天 不詳
- 3 富取風堂 椿と鴛鴦 不詳
- 4 富取風堂 藤と懸巣 不詳
- 5 富取風堂 白梅 不詳
- 6 富取風堂 猫とかに 不詳

## 房総と近代美術Ⅱ

会期 平成17年7月5日(火)～10月10日(月) 85日間  
点数 8点

〈工芸〉

- 1 津田信夫 鶩 1939
- 2 津田信夫 白鳥 1940
- 3 宮之原謙 象嵌磁鉢 1968
- 4 土肥刀泉 釉彩両耳花瓶 不詳
- 5 藤田喬平 飾簪・朱雀 1978

〈彫刻〉

- 1 高村光太郎 手 1918
- 2 新海竹太郎 老馬 1921
- 3 山本正道 エトルリアの壺 1985

石橋 武治

会期 平成17年7月26日(火)～8月28日(日) 30日間  
点数 10点

- 1 石橋武治 並木の道 1952
- 2 石橋武治 筑波遠望 1953
- 3 石橋武治 白鷺のいる風景 1953
- 4 石橋武治 早春 1954
- 5 石橋武治 足をふく女 1958
- 6 石橋武治 高原の朝 1961
- 7 石橋武治 水辺の家 1963
- 8 石橋武治 砂山 1966
- 9 石橋武治 水温む 1968
- 10 石橋武治 夜の富士 1969

若木 山

会期 平成17年8月9日(火)～9月11日(日) 30日間  
点数 4点

1 若木 山 湧水 1964

2 若木 山 潜 1966

3 若木 山 山峡の春 1967

4 若木 山 わだつみ 1968

## 石井雙石

会期 平成17年8月30日(火)～10月10日(月) 37日間  
点数 17点

- 1 石井雙石 一笑百印 1946
- 2 石井雙石 陶犬瓦鶴 1952
- 3 石井雙石 酔鄉候印 1952
- 4 石井雙石 春晚落華餘碧草 1953
- 5 石井雙石 跌座蹴 1953
- 6 石井雙石 故弄詭詭 1953
- 7 石井雙石 故人今人如流水(裏:午睡) 1954
- 8 石井雙石 偶成(裏:吉陽) 1954
- 9 石井雙石 月入斜窓曉寺鐘 1956
- 10 石井雙石 養心王鉢 1960
- 11 石井雙石 虎威將軍章 1961
- 12 石井雙石 人生一樂 1963
- 13 石井雙石 山華水鳥皆知己 1967
- 14 石井雙石 碩鉢 1970
- 15 石井雙石 五里霧中 不詳
- 16 石井雙石 水廣魚游 不詳
- 17 石井雙石 自用印一括 不詳

## 美人画(房総の日本画家)

会期 平成17年9月13日(火)～10月10日(月) 25日間  
点数 4点

- 1 富取風堂 斜陽(夏すがた其一) 1936
- 2 若木 山 常陸乙女 1948
- 3 五十嵐幹 紅粧 1975
- 4 横尾芳月 夕粧 1981

## 小堀 進

会期 平成18年1月31日(火)～3月5日(日) 30日間  
点数 10点

- 1 小堀 進 溪流 1960頃
- 2 小堀 進 レマン湖畔 1962
- 3 小堀 進 南欧の丘 1962
- 4 小堀 進 ロンドンの朝 1964

## 平成17年度 アート・コレクション展

5 小堀 進	雨後の山 (信州)	1964	10 深沢幸雄	アシェンダの地下にて	1980
6 小堀 進	山	1965	11 深沢幸雄	酒場にて	1983
7 小堀 進	霞ヶ浦	1973	12 深沢幸雄	星屑劇場	1983
8 小堀 進	花と海	1974	13 深沢幸雄	憂愁市街 (迷路)	1985
9 小堀 進	逆光	1974	14 深沢幸雄	寂しい訪問者	1988
10 小堀 進	大穹	1974	15 深沢幸雄	白い抒情の人	1992

### 東山魁夷と関主税

会期 平成18年1月31日(火)～3月19日(日)42日間  
点数 4点

1 東山魁夷	春雪	1973
2 東山魁夷	秋深	1975
3 関 主税	潤声	1977
4 関 主税	晨	1984

### 房総と近代美術III

会期 平成18年1月31日(火)～4月23日(日)71日間  
点数 8点

〈工芸〉		
1 秋山逸生	木画箱	1969
2 藤田喬平	飾簪・湖上の花	1980頃
3 藤田喬平	飾簪・瑞光	1998
4 横山朝陽	牡丹紋搔落壺	不詳
〈彫刻〉		
1 小倉惣次郎	伊藤博文像	1909年頃
2 新海竹太郎	老馬	1921
3 高村光太郎	手	1918
4 藤野天光	希望	

### 深沢幸雄

会期 平成18年3月7日(火)～4月9日(日) 30日間  
点数 15点

1 深沢幸雄	古い楽譜	1965
2 深沢幸雄	民族の宴	1966
3 深沢幸雄	家族	1968
4 深沢幸雄	扉と訪問者	1969
5 深沢幸雄	戦慄 (トルソ)	1973
6 深沢幸雄	影 (メヒコ) A	1974
7 深沢幸雄	掌の中の影	1976
8 深沢幸雄	虚空の影	1977
9 深沢幸雄	この遙かなる遠い道	1979

### 石井林響

会期 平成18年3月21日(火)～4月23日(日)29日間  
点数 6点

1 石井林響	漁樵	1913
2 石井林響	桃源	1913
3 石井林響	蓬莱仙境之図	1927
4 石井林響	梅花書屋	不詳
5 石井林響	唐美人	不詳
6 石井林響	桃源	不詳

### 【第2展示室】

#### 浅井忠・フォンタネージ・バルビゾン派

会期 平成17年4月26日(火)～10月10日(月)  
平成18年1月31日(火)～3月31日(金)  
197日間

点数 17点		
1 浅井 忠	藁屋根	1887頃
2 浅井 忠	漁婦	1897
3 浅井 忠	母の肖像	1899
4 浅井 忠	フォンテンブルーの夕景	1901
5 浅井 忠	農婦	1902
6 浅井 忠	婦人像	1907
7 フォンタネージ	十月、牧場のタベ	1860
8 フォンタネージ	池と樹木	不詳
9 ラヴィエ	モレスティルの谷	不詳
10 コロー	フォンテンブルーの風景	1830～35頃
11 ミレー	垣根に沿って草を食む羊	不詳
12 クールベ	嵐	1865頃
13 クールベ	雪の中の小鹿	1869頃
14 ルソー	バルビゾンの農場	1850～55頃
15 ドービニー	オワーズ川のほとり	1865
16 ディアズ	森の中の農婦	1868
17 デュプレ	森のはずれ	不詳

平成17年度 アート・コレクション展

【第3展示室】

戦後の水彩画

会期 平成17年4月16日(土)~5月15日(日) 27日間

点数 27点

1 荒谷直之介	白船入港(マラガ)	1962	6 鶴田吾郎	憶ひ出の広安門	1939
2 荒谷直之介	大原女	1969	7 鶴田吾郎	富士山	1951
3 安藤信哉	静物	1977	8 鶴田吾郎	朝日連峰	1951~1954
4 石井柏亭	裏磐梯の秋	1952	9 鶴田吾郎	榎夫	1952
5 大崎善生	初秋水郷	1989	10 鶴田吾郎	鷹の巣の雪山	1954
6 小堀 進	高原	1951	11 鶴田吾郎	谷川岳	1959
7 小堀 進	セーヌ川	1973	12 鶴田吾郎	説教	1962
8 小堀 進	大穹	1974	13 鶴田吾郎	存在	1965
9 小山周次	花菖蒲	1958	14 鶴田吾郎	小鳥たち	1965
10 小山周次	三宝柑	1961	15 鶴田吾郎	初転法輪	1967
11 柴田祐作	佐原風景	1980	16 鶴田吾郎	山神	1967
12 田坂 乾	カルポーの泉	1978	17 鶴田吾郎	お山の鈴音	1968
13 田坂 乾	ニースの港	1983	18 鶴田吾郎	水温む	1968
14 田坂ゆたか	佃島にて	1955	19 鶴田吾郎	自画像	1912
15 田坂ゆたか	ヴァンスの春	1976	20 鶴田吾郎	練習中の大交響楽団(レンジ)	
16 富田通雄	卓による女	1948	21 鶴田吾郎	ラードオーケストラ	1958
17 富田通雄	林梢	1956	22 鶴田吾郎	廟と老人(張家口)	1937
18 中西利雄	曇り日の離宮と駅	1947	23 鶴田吾郎	婦人像	1933
19 不破 章	三人姉妹	1956	24 鶴田吾郎	買出しの娘	1946
20 不破 章	台湾農村風景	1970	25 鶴田吾郎	木をつくる	不詳
21 不破 章	奥鬼怒の湯治場	1976			
22 不破 章	浴衣	1960	1 岩崎巴人	波涛岩礁図	1974
23 前林章司	奥入瀬	1968	2 篠崎之男	瀧	1969
24 前林章司	支笏湖畔	1965頃	3 富取風堂	游鯉	1928
25 三橋兄弟治	染色をする女	1954	4 吉岡堅二	濤	1939
26 三橋兄弟治	トレド早春	1973	[洋画]		
27 山倉克己	田園春めく	1999	1 相田直彦	清浪	不詳

鶴田 吾郎

会期 平成17年5月21日(土)~7月10日(日) 44日間

点数 25点

1 鶴田吾郎	千川堤の桜	1912	6 浅井 忠	五月の海	1960
2 鶴田吾郎	アムールのブランコエンシェスク	1919	7 石井柏亭	舟に居る人	1913
3 鶴田吾郎	初秋	1921	8 石川欽一郎	水辺	明治末
4 鶴田吾郎	婦人像	1935	9 牛島憲之	潮	不詳
5 鶴田吾郎	蒙古の女	1937	10 大崎善生	十二橋	1950頃

## 平成17年度 アート・コレクション展

11	大下藤次郎	波	1905	13	椿 貞雄	黒壺に椿一輪	1948
12	櫻田精一	水温む河岸	1992	14	椿 貞雄	鋸山から見た房総半島	1948
13	白滝幾之助	海	1939	15	椿 貞雄	犬吠埼	1948
14	田坂 乾	ヴェネチア	1983	16	椿 貞雄	おこぜ	1950
15	田坂ゆたか	運河沿いの家	1986	17	椿 貞雄	かれい	1950
16	寺田政明	犬吠灯台の見える外川港	1985	18	椿 貞雄	秋果図	1951
17	時田幸彦	犬吠	1991	19	椿 貞雄	老政治家の像	1953
18	富田通雄	外房鵜原	1964頃	20	椿 貞雄	水彩画家(渡辺義一君像)	1953
19	西川 純	保津峡	不詳	21	椿 貞雄	鴨図	1955
20	松岡 寿	森と小川	1895				
[工芸]				描かれた船 (県立美術館・博物館合同企画事業)			
1	青木滋芳	洞門	1965	会期 平成18年1月31日(火)~3月12日(日)36日間			
2	上野斌郎	渦潮染色屏風	不詳	点数 27点			
3	鈴木治平	条紋金彩花瓶	1977	1	ビゴー	稻毛村のわがアトリエ	
4	宮之原謙	双魚花瓶	1958	2	ビゴー	漁師と舟	1892~97頃
5	山室百世	朧銀月明置物	1964	3	浅井 忠	帆船の図	1907
関連事業				4	浅井 忠	房州乙浜村	1888
キッズサマーコンサート				5	浅井 忠	舟	不詳
日時 8月6日(土)				6	大下藤次郎	久々子湖	1911
演奏 千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部				7	須田国太郎	風景(漁船)	不詳
創作体験コーナー				8	富田通雄	静かなる日	1937
内容 マーブリング模様のコースター制作				9	前嶋 實	九十九里初夏	1988
日時 期間中の土曜日 14時~16時				10	高橋規矩治	滞船	1970
劉生と椿貞雄				11	石橋武治	水辺	1956
会期 平成17年9月3日(土)~10月10日(月)33日間				12	寺田政明	犬吠灯台の見える外川港	1985
点数 21点				13	原 三郎	廃船	1977
1	岸田劉生	霧れたる冬の日	1917	14	若木 山	波上海女図	1953
2	椿 貞雄	自画像	1915	15	小野具定	遠くなつた海	1974
3	椿 貞雄	八重子像	1918	16	都鳥英喜	滞船	1933
4	椿 貞雄	垣根のある風景	1919	17	佐々木一郎	漁村	1981
5	椿 貞雄	牡丹	1920	18	大野隆徳	隅田川	1929
6	椿 貞雄	横堀角次郎兄像	1921	19	田坂ゆたか	森が崎附近	1963
7	椿 貞雄	夏之路傍	1921	20	十亀広太郎	上野公園池畔	1924
8	椿 貞雄	山茶花図	1925	21	国松伽耶	港	不詳
9	椿 貞雄	夏の風景	1928	22	小川千麿	港	不詳
10	椿 貞雄	春夏秋冬図屏風(春)	1931	23	田坂 乾	ニースの港	1983
11	椿 貞雄	アンドレ裸体	1932	24	松村三冬	ピランの夏	1988
12	椿 貞雄	岩	1936	25	安藤信哉	みなと	不詳
				26	鳩川誠一	ヴェニス風景	1969
				27	富取風堂	朝光	1931

平成17年度 アート・コレクション展

【第8展示室】

新収蔵作品展	会期	平成17年4月2日(土)～5月29日(日)	50日間	4 藤田喬平	ヴェニス花瓶	1996
点数 38点				5 藤田喬平	ヴェニス花鉢	2003
[日本画]				6 藤田喬平	流動「牡丹」	1967
1 石川 韶	化石の渚	1975	[書]	宇津木紅来	流鶯	1987
2 山口 達	機織り	不詳			ガラスの彩り	
3 斎藤 悅	上華巖寺詣	1998	会期	平成17年6月4日(土)～8月21日(日)	68日間	
4 斎藤 悅	大漁の日	2002	点数	42点		
[洋画]				1 岩田藤七	盛器	1969
1 松室重剛	富士	不詳		2 岩田藤七	花器	1971
2 松室重剛	山	不詳		3 岩田藤七	水指	1971
3 松室重剛	秋の山	不詳		4 岩田藤七	花器	1974
4 松室重剛	妙義山	不詳		5 岩田藤七	貝	1975
5 松室重剛	渓谷	不詳		6 岩田藤七	花器	1975
6 松室重剛	富士遠望	不詳		7 岩田藤七	瓶	1977
7 針生鎮郎	家族	1963頃		8 岩田藤七	茶碗	不詳
8 針生鎮郎	いちご畑・ボス	1965				

平成17年度 アート・コレクション展

9	各務鉱三	水指	不詳	3	香取正彦	臘銀玉錯花瓶	1979
10	各務鉱三	花瓶	不詳	4	香取正彦	玉装花瓶	1975頃
11	藤田喬平	春の小川	1955	5	香取正彦	鎔銅花瓶	不詳
12	藤田喬平	流動三彩	1965	6	香取正彦	臘銀花瓶	不詳
13	藤田喬平	華	1969	7	高村豊周	青銅花入	不詳
14	藤田喬平	三彩	1980	8	津田永寿	鳥の花器	1979
15	藤田喬平	飾宮・湖上の花	1980頃	9	津田信夫	一點玲瓏	1934
16	藤田喬平	ヴェニスの灯	1984	10	津田信夫	閑鱗上下	1941
17	藤田喬平	飾宮・しだれ桜	1985	11	津田信夫	花瓶	不詳
18	藤田喬平	ヴェニススタンド	1986	12	中村董一	鎔銅花瓶	1935頃
19	藤田喬平	ヴェニス花瓶	1990	13	中村董一	鎔銅花瓶	1935頃
20	藤田喬平	彩環	1993	14	信田 洋	帶装瓶	1971
21	藤田喬平	飾宮・室町	1996	15	信田 洋	透首瓶	不詳
22	藤田喬平	飾宮・瑞光	1998	16	山室百世	鎔銅芽花瓶	1955
23	藤田喬平	飾宮・醍醐	2001	17	山室百世	青銅花挿	不詳
24	藤田喬平	平和	2001	18	山室百世	鎔銅花瓶	不詳
25	藤田喬平	平水指	2002	[置物]			
26	藤田喬平	炎の舞	2002	1	会田富康	青銅双鳥置物	不詳
27	藤田喬平	秋宝	2003	2	香取秀真	龍	1937
28	藤田喬平	ヴェニス花瓶	2003	3	津田永寿	雪の朝	1989
29	岩田久利	花器	1982	4	津田信夫	変貌七色	1933
30	岩田久利	鉢	1984	5	津田信夫	北辺夜猫子	1941
31	岩田久利	花器	1986	6	津田信夫	唐獅子置物	1946
32	岩田久利	花器(影)	1986	7	津田信夫	月下妖麗	不詳
33	岩田久利	花器	1989	8	津田信夫	老子	不詳
34	岩田久利	花器	1989	9	津田信夫	兎	不詳
35	岩田久利	水指	1991	10	津田信夫	天燈鬼像	不詳
36	岩田久利	花器(空色捻文花生)	1993	11	津田信夫	竜燈鬼像	不詳
37	石井康治	環象文器	1993	12	津田信夫	鹿	不詳
38	石井康治	彩花文器	1995	13	山室百世	鎔銅草花置物	1933
39	藤田 潤	縮	1991	14	山室百世	鎔銅萌ゆる力置物	1940
40	藤田 潤	印象	1993	15	山室百世	鎔銅想念置物	1953
41	藤田 潤	風の道	1995	16	山室百世	鎔銅遍路置物	1961
42	藤田 潤	杜の風	1999	[裝飾]			
金工の世界				1	大須賀喬	昆蟲文飾皿	1986
会期 平成17年8月27日(土)~10月10日(月)39日間				2	小林正利	宴野	1996
点数 55点				3	津田信夫	鳥(ラジエーターの装飾)	1929
[花瓶]				4	信田 洋	黄銅花いらす	1961
1	香取秀真	筋入花瓶	不詳	5	信田 洋	黒孔雀の瓶	1967
2	香取正彦	鎔銅四神文四方花瓶	1952	6	信田 洋	銀瓶(スクラム)	1976
				7	信田 洋	金彩壺	1979

## 平成17年度 アート・コレクション展

- 8 蓮田修吾郎 鐘がなるリューベック 1986  
 9 山室百世 鎔銅朝陽(パネル) 1951  
 10 山室百世 鎔銅月明に善を聞く 1952

### [香炉]

- 1 大須賀喬 蝶文黒銅香炉 1983  
 2 香取秀真 烏銅鳳凰香炉 1911  
 3 香取秀真 鳩香炉 1949  
 4 香取秀真 笑獅子香炉 不詳  
 5 香取秀真 美々豆久香炉 不詳  
 6 香取秀真 瑞鳥飾三足鑪 不詳  
 7 鈴木治平 湿原の詩 1985  
 8 高村豊周 香炉 不詳  
 9 津田永寿 喜心 1998  
 10 津田信夫 凤翔薰炉 1937  
 11 津田信夫 玉麟培爐 不詳

### 書の美

会期 平成18年1月31日(土)~4月9日(日) 60日間  
 点数 14点

- 1 浅見喜舟 白楽天詩 1954  
 2 浅見喜舟 無事 1973  
 3 板倉花巻 神情詩 1949  
 4 今関脩竹 山峠の水 1964  
 5 小川瓦木 叙情 1959  
 6 奥田家山 明治百二十年讃歌 1987  
 7 小谷碧洞 蘭亭序 1934  
 8 小暮青風 漂泊の思い 1985  
 9 鈴木方鶴 天真爛漫 1972  
 10 高木東扇 旅人 1981  
 11 高澤南総 春風秋月 1965  
 12 種谷扇舟 故郷之山河 1971  
 13 千代倉桜舟 いろはうたの構築-4部連- 1984  
 14 中村象閑 万葉長歌 1998

開催地：川越市立歴史博物館  
 開催期間：2011年1月15日(土)~4月9日(日)  
 開催場所：川越市立歴史博物館  
 開催時間：午前9時~午後5時

開催日：1月15日(土)~4月9日(日)  
 開催場所：川越市立歴史博物館

## 県立美術館コレクション展

財団法人 千葉県社会教育施設管理財団との共催により千葉県立博物館ネットワーク事業の一環として、千葉県立美術館が所有する優れた美術作品を、県内各地域に在住する県民に広く鑑賞の機会を提供するための美術展を県立博物館において実施した。

房総美術の4人の巨匠			
会期	平成17年7月21日(木)～8月21日(日)33日間	35 石井林響	桃源 1913
会場	千葉県立総南博物館	36 石井林響	白閑鳥 1924-1925
点数	49点	37 香取秀真	靈獸文大花瓶 不詳
1 浅井 忠 虎図	1902-1907	38 香取秀真	笑獅子香炉 不詳
2 浅井 忠 韓信図	1907	39 香取秀真	菊文釜 不詳
3 浅井 忠 人物風俗図	1902-1907	40 香取秀真	鋳鉄茶釜 不詳
4 浅井 忠 盗賊	1902-1907	41 香取秀真	銅製茶托 不詳
5 浅井 忠 かぶとの図	1902-1907	42 香取秀真	盃 不詳
6 浅井 忠 帆船の図	1907	43 香取秀真	龍 1937
7 浅井 忠 民家 (B)	1902-1907	44 津田信夫	胡孫遊目 1935
8 浅井 忠 木かげの民家	1902-1907	45 津田信夫	鳳翔薰炉 1937
9 浅井 忠 樹	1902-1907	46 津田信夫	玉麟焜爐 不詳
10 浅井 忠 東宮御所壁飾草稿 (1)	1905	47 津田信夫	灰皿 1934
11 浅井 忠 東宮御所壁飾草稿 (2)	1905	48 津田信夫	北辺夜猫子 1941
12 浅井 忠 千石船	1902-1907	49 津田信夫	蛙 1934
13 浅井 忠 民家 (1)	1902-1907	小堀進の世界	
14 浅井 忠 民家 (2)	1902-1907	会期	平成17年8月12日(金)～9月4日(日) 20日間
15 浅井 忠 大原女	1902-1907	会場	千葉県立大利根博物館
16 浅井 忠 農家	1902	点数	11点
17 浅井 忠 小丹波村	1893	1 小堀 進	花と海 1974
18 石井林響 浦島太郎図	不詳	2 小堀 進	ロンドンの朝 1964
19 石井林響 巖	不詳	3 小堀 進	レマン湖畔 1962
20 石井林響 葦と白鳥	不詳	4 小堀 進	雨後の山(信州) 1964
21 石井林響 達磨	不詳	5 小堀 進	高原 1951
22 石井林響 竹花鳥	不詳	6 小堀 進	逆光 1974
23 石井林響 櫻	不詳	7 小堀 進	霞ヶ浦 1973
24 石井林響 冬景色	不詳	8 小堀 進	山 1965
25 石井林響 夏山	不詳	9 小堀 進	南欧の丘 1962
26 石井林響 釣人	不詳	10 小堀 進	冬晴の果樹園 1936
27 石井林響 白衣の老人	不詳	11 小堀 進	溪流 1960年頃
28 石井林響 老人と船	不詳		
29 石井林響 寒山拾得	不詳		
30 石井林響 崖に向かう老人	不詳		
31 石井林響 桃源	不詳		
32 石井林響 蓬萊仙境之図	1927		
33 石井林響 老松白鷺之図	不詳		
34 石井林響 漁樵	1913		

## 県立美術館コレクション展

安房博物館を会場とするコレクション展において、第57回千葉県美術展覧会県展賞受賞作品を併せて展示することにより第29回千葉県移動美術館に充当した。

### 美術館選品

会期 平成17年11月11日(金)～12月11日(日)

26日間

会場 千葉県立安房博物館

点数 30点

1 浅井 忠	農婦	1902
2 浅井 忠	藁屋根	1887頃
3 石井康治	彩花文器	1995
4 石井柏亭	聖フランチェスコ寺院	1923
5 石橋武治	水辺の家	1963
6 岩田藤七	貝	1962
7 梅原龍三郎	皇居	1980
8 神谷紀雄	鉄絵銅彩椿紋壺	1987
9 川端龍子	松	不詳
10 小堀 進	セーヌ川	1973
11 トワイソン	河辺の道	1860-1865
12 櫻田精一	冬沼	1994
13 笹岡了一	山西	1984
14 篠崎輝夫	西域残映	1997
15 コロー	ナポリ近郊の思い出	1860-1865

16 ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃
17 椿 貞雄	岩	1936
18 土肥刀泉	釉彩両耳花瓶	1967頃
19 富取風堂	暮色	1962
20 中山爾郎	秋装の群落	1988
21 藤田喬平	飾簪朱雀	1978
22 不破 章	二女	1953
23 松尾敏男	晨光富貴	不詳
24 山本正年	瑞光	不詳
25 若木 山	潛	1966
26 渡辺 学	下総の海女	1982

### 第29回千葉県移動美術館（県展賞受賞作品）

1 真田みつ江	採光	2005
2 小島房子	スラム・2005	2005
3 川口満	記憶への想	2005

4 野口懷新 五言律詩 2005

### 東山魁夷の風景

会期 平成18年1月1日(日)～1月25日(水) 18日間

会場	千葉県立関宿城博物館
点数	8点
1 東山魁夷	秋深
2 東山魁夷	春雪
3 東山魁夷	濤声
4 東山魁夷	リトグラフィ集『冬の詩』
1. 枯野	1979
5 東山魁夷	リトグラフィ集『冬の詩』
2. 冬樹	1979
6 東山魁夷	リトグラフィ集『冬の詩』
3. 湖岸	1979
7 東山魁夷	リトグラフィ集『冬の詩』
4. 冬樹	1979
8 東山魁夷	リトグラフィ集『冬の詩』
5. 樹氷	1979

### 山里の風情

会期 平成18年1月11日(水)～2月12日(日)28日間

会場	千葉県立房総のむら
点数	25点
1 生田宏司	静寂の間
2 生田宏司	仙宮の白梟
3 生田宏司	二羽の子梟
4 生田宏司	風
5 生田宏司	白福老滝図
6 今関啓司	浅春山路
7 高村光太郎	猪
8 高村光太郎	野兎の首

9 津田永寿 雪の朝 1989

10 津田信夫 鴨 1936

11 津田信夫 鷺 1939

12 津田信夫 月下妖麗 不詳

## 県立美術館コレクション展

13	津田信夫	水牛	不詳	22	星 襄一	枝繁る(赤)	1978
14	津田信夫	兎	不詳	23	増村益城	乾漆波文溜塗盛器	1965
15	津田信夫	鯵	1941-1943				
16	津田信夫	狸	1941-1943				
17	津田信夫	兎	1941-1943				
18	原 勝郎	森 (A)	1955				
19	原 勝郎	森	1955				
20	原 勝郎	樹	1955				
21	山倉克己	田園春めく	1999				
22	山倉克己	降雪	1958				
23	山倉克己	田園弥生	1982				
24	津田信夫	北辺夜猫子	1941				
25	津田信夫	蛙	1934				

## 伝統の技の継承

会期 平成18年2月4日(土)~3月5日(日) 31日間

会場 千葉県立上総博物館

点数 23点

1	秋山逸生	蝶貝象嵌箱	1966
2	石井柏亭	印旛沼	1917
3	石井柏亭	佐原	1917
4	鹿島一谷	布目象嵌菱つなぎ文南鎌水指	1981
5	香取秀真	瑞鳥飾三足鑓	不詳
6	香取正彦	鋳銅四神文四方花瓶	1952
7	金子周次	松林	不詳
8	金子周次	犬吠灯台	不詳
9	金子周次	石垣の家・外川	1968
10	金子周次	犬若浦釣手晚夏	不詳
11	金子周次	物見梯子のある風景	不詳
12	金子周次	川口風景	不詳
13	川瀬巴水	房州太海	1925
14	川瀬巴水	市川の晩秋	1930
15	戸島甲喜	輪(りんご)	1969
16	戸島甲喜	群生の彼方に	1975
17	中臺瑞真	十六弁菱形盤	不詳
18	星 襄一	夜明け	1975
19	星 襄一	王の樹	1976
20	星 襄一	陽(林)	1978
21	星 襄一	大樹	1974

# 企画展「近代陶芸の精華 宮之原謙」

会期	平成17年11月26日(土)～	0001	並河翠山の内蔵式多	新潟文宮	
	平成18年1月22日(日)	0002	船木古才吉文壺	新潟文宮	
会場	第1.2.8展示室	0003	森本山家菊子等	新潟文宮	
展示点数	113点	0004	船木天作七海金	新潟文宮	
入場者数	5,344人	0005	森文代桂通等	新潟文宮	
1	宮之原謙 赤鉄結晶釉竹文壺	1929	0006	柳澤翠文三郎左右衛門	新潟文宮
2	宮之原謙 赤鉄結晶釉竹文水盤	1929	0007	彩盛磁菖蒲花瓶	1954
3	宮之原謙 壁面照明「銀河」[復元]	1931	0008	象嵌磁泰山木飾壺	1955
4	宮之原謙 象嵌十字星結晶花挿	1932	0009	百合彫文壺	1955
5	宮之原謙 天目釉草花文壺	1933	0010	象嵌磁唐草盛上皿	1955
6	宮之原謙 盛上磁連星壺	1933頃	0011	彩釉蛇の目文壺	1955頃
7	宮之原謙 釉象嵌「梅」小香炉	1935	0012	錦茶磁連弁彫文壺	1955-60
8	宮之原謙 釉象嵌「蘭」小香炉	1935	0013	鐵染磁筒形花生	1955-65
9	宮之原謙 白磁四方百合象嵌大皿	1935	0014	陶製花瓶「空」	1956
10	宮之原謙 牡丹文盛上水指	1935頃	0015	彩土盛葉陰大皿	1957
11	宮之原謙 白掛刻文茶碗	1935頃	0016	彩地彫百童花瓶	1958
12	宮之原謙 白掛刻文茶碗	1935頃	0017	双魚花瓶	1958
13	宮之原謙 鉄砂線彫文花瓶	1935-45	0018	象嵌磁サボテン細口壺	1959
14	宮之原謙 象嵌花瓶	1936	0019	釉彩壺「山」	1960
15	宮之原謙 象嵌磁盛上花蝶鉢	1938頃	0020	金彩釉茶碗	1960
16	宮之原謙 鉄釉牡丹唐草彫文壺	1938頃	0021	金茶釉茶碗	1960
17	宮之原謙 釉嵌渦文壺	1939	0022	藍磁彫文花挿	1960-65
18	宮之原謙 釉彩ゴルフ皿	1939	0023	藍地草花彫文花瓶	1960-65
19	宮之原謙 褐釉花唐草浮文壺	1940	0024	釉彩鳥花瓶	1961
20	宮之原謙 鉄釉花瓶	1940	0025	釉彩環耳壺「寓意」	1962
21	宮之原謙 百合文象嵌花瓶	1940	0026	釉彩丸壺「椿」	1962
22	宮之原謙 象嵌春皿	1940頃	0027	釉彩梅花花挿	1963頃
23	宮之原謙 連花弁文水指	1940頃	0028	窯変釉百合彫文壺	1964
24	宮之原謙 鉄磁盛上晶文壺	1941	0029	窯変ネクレス金彩花瓶	1964頃
25	宮之原謙 鉄砂黒釉牡丹彫文花瓶	1943-50	0030	黒釉象嵌磁花文壺	1965
26	宮之原謙 鉄釉象嵌草蛾皿	1946	0031	金彩線文壺	1965頃
27	宮之原謙 陶器葡萄彫文壺	1949	0032	泰山木文花瓶	1965頃
28	宮之原謙 彩盛磁アゼリア皿	1949	0033	天目朱釉獅子手付花瓶	1966
29	宮之原謙 象嵌磁盛上百合香炉	1950頃	0034	象嵌磁壺「溪」	1967
30	宮之原謙 釉嵌よろけ縞と盛上円壺	1950頃	0035	象嵌磁筆文花瓶	1968
31	宮之原謙 象嵌磁白盛「瀬」鉢	1951	0036	線象嵌窯変丸壺	1968
32	宮之原謙 彩盛磁海女壺	1952	0037	白磁大壺	1968
33	宮之原謙 彩盛磁平和の祈り皿「月桂樹」	1952	0038	象嵌磁鉢	1968
			0039	天目朱釉丸壺	1968
34	宮之原謙 彩盛磁平和の祈り皿 「クローバー」	1952頃	0040	天目朱釉壺	1968頃
			0041	古代釉四ツ耳花瓶	1969
			0042	古代釉わらび手一輪挿	1969

72	宮之原謙	金砂釉四方耳象嵌壺	1969	《特別出品》	吉田、吉川の吉田九郎、見西宣
73	宮之原謙	朝霧釉末広花挿	1969	1 宮川香山(二代)釉下彩柳燕文壺	吉田
74	宮之原謙	彩色磁泰山木壺	1970	2 宮川香山(二代)色絵菊文蓋付壺	吉田
75	宮之原謙	金彩サボテン壺	1971	3 板谷波山 萩光彩磁吳須模様鉢	1916
76	宮之原謙	彩磁牡丹文壺	1971	4 板谷波山 紫金磁唐花文花瓶	1926頃
77	宮之原謙	古代釉三ツ足香炉	1971		
78	宮之原謙	彩盛磁牡丹唐草壺	1971		
79	宮之原謙	彩盛磁チューリップ花挿	1971	《関連展示》	
80	宮之原謙	瑠璃釉茶碗	1972	象嵌の技法 彩磁・釉彩のいろどり	
81	宮之原謙	金彩モスク壺	1972	会場 第3展示室	
82	宮之原謙	彩盛磁泰山木花瓶	1972	点数 18点	
83	宮之原謙	黒釉象嵌磁波文壺	1972	1 井口雅代 釉彩睡蓮文大皿	2003
84	宮之原謙	瑠璃釉金彩一輪生	1972	2 井口雅代 釉彩紅葉文組皿	2005
85	宮之原謙	金彩花の額皿	1973	3 上瀧勝治 萩光布染彩磁壺	2005
86	宮之原謙	朝霧釉小鳥香炉	1974	4 上瀧勝治 萩光布染彩磁香炉	2005
87	宮之原謙	彩盛磁砂時計壺	1974	5 奥田光祥 波状文象嵌大壺	2000
88	宮之原謙	彩盛磁木蓮花瓶	1974	6 奥田光祥 線象嵌水指	2003
89	宮之原謙	釉彩スポーツ水指	1974	7 川上祥三郎 釉彩草文大皿	1984
90	宮之原謙	彩盛百合文壺	1974	8 島岡達三 象嵌皿	1985頃
91	宮之原謙	天目釉四方獅子耳大壺	1975	9 島岡達三 象嵌扁壺	1985頃
92	宮之原謙	彩盛磁梅茶碗	1975	10 島田文雄 彩磁朴木文大皿	2003
93	宮之原謙	朝霧釉香炉	1975	11 島田文雄 彩磁木蓮文陶宮	2005
94	宮之原謙	彩盛磁サボテン文香合	1975	12 内藤 裕 釉象嵌風葉文壺	1993
95	宮之原謙	彩盛磁かざぐるま壺	1975	13 内藤 裕 釉象嵌風華文鉢	2002
96	宮之原謙	象嵌渦小壺	1975	14 丸山輝悦 釉彩磁彫紫陽花文壺	2005
97	宮之原謙	彩盛磁磁石壺	1975	15 三橋英作 象嵌花器(展)	1984
98	宮之原謙	青磁香合「梅」	1975	16 三橋英作 彩磁草花文(萩)花瓶	2003
99	宮之原謙	彩盛磁百合文花挿	1975	17 安原喜明 炙器花器 市街〈パラボラ〉	
100	宮之原謙	象嵌波花壺	1975	アンテナの見える街〉	1961
101	宮之原謙	窯変釉象嵌扁壺	1975	18 安原喜明 炙器〈釣り花器〉	1972
102	宮之原謙	青磁金彩壺	1975		
103	宮之原謙	青磁水指	1975		
104	宮之原謙	鉄茶釉鱗文花瓶	1975頃		
105	宮之原謙	釉彩象嵌磁スポーツ壺	1976		
106	宮之原謙	象嵌磁泰山木大皿	1976		
107	宮之原謙	彩盛磁パラボラ文香炉	1976		
108	宮之原謙	彩盛磁アジサイ香炉	1976		
109	宮之原謙	金彩磁象嵌パラボラ大皿			
		-宇宙への交信	1977		



## ■美術講演会(企画展関連事業)

企画展「近代陶芸の精華 宮之原謙」の開催中、宮之原謙氏に師事した會田雄亮氏(陶芸家・東北芸術工科大学名誉教授)を講師に招き、「我が師・陶芸家 宮之原謙先生」の演題で講演会を実施した。

期 日 12月3日(土) 14:00~15:30

場 所 講堂

参加者数 65名

れた。

古典曲として著名な「越殿楽(えてんらく)」は平安中期頃様々な歌詞をつけて歌われていたことから、聴衆とともに歌うことも行われた。

期 日 12月17日(土) 14:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者数 124人

## ■ミュージアムコンサート

(企画展関連事業)

企画展「近代陶芸の精華 宮之原謙展」の開催中に、作品のモチーフに銀河、星などが使われていることから、「星と月に寄せて」と題してニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のメンバーによるコンサートを行った。

「星は光りぬ」や「夕星の歌」などのオペラの曲から、「昴」や「荒城の月」など親しみのある曲を演奏し、好評を得た。

期 日 12月10日(土) 14:00~

場 所 講堂

参加者数 202名



## ■龍笛の調べ(企画展関連事業)

企画展「近代陶芸の精華 宮之原謙」の開催中、雅楽演奏家である平井祐子氏による龍笛の演奏会を実施した。雅楽古典曲の「蘇莫者破(そまくしゃのは)」、宮之原氏が作品のモチーフの一つとした風車にちなんで、東儀季熙(すえなが)が明治10年に作曲した「風車(かざぐるま)」、唱歌から「荒城の月」なども演奏された。また、「宮之原謙氏に捧げる」と題して、平井氏の自作曲「手」も初演さ

## ■木管五重奏コンサート

(企画展関連事業)

企画展「近代陶芸の精華 宮之原謙」の開催中、千葉アンサンブルムジカによる木管五重奏コンサートを実施した。イベル「3つの小品」、ドボオルザーク「木管五重奏曲 アメリカ」や、久石譲の作品から、宮崎駿の映画(「魔女の宅急便」など)の中で使用された曲が演奏された。

期 日 1月14日(土) 14:00~15:00

場 所 講堂

参加者数 71名

## ■キッズ・サマーコンサート

(アート・コレクション関連事業)

「こどものための展覧会」の開催中に関連事業として、千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部と連携し、こどものためのコンサートを行った。

ミュージカル映画「オズの魔法使い」より「虹の彼方に」などの演奏から「浜辺の歌」など、こどものための楽しいコンサートを行い、好評を得た。

期 日 8月6日(土) 14:00~・15:00~ [2部制]

場 所 第7展示室

参加者数 [1部]361人 [2部]338人



## ■ワークショップ

美術館でしか味わえない創作体験学習を通して、子どもたちに親しまれる美術館利用の促進を図るために、ワークショップを開催した。

### ●第1回ワークショップ

#### 「ウォール・ペイント、ロック・ペイント」

外壁に貼った紙やダンボールで作った凸凹の物体、芝生に敷いた紙に自由に絵を描く創作体験。

期 日 5月14日(土) 13:00~15:00

場 所 美術館野外

参加者数 184人

### ●第2回ワークショップ

#### 「県民の日スペシャルワーク・いろいろ作っちゃおう！」

県民の日に近い土曜日に、ちぎり絵のカード、ガラス風鈴の絵付け、木の粉の特殊粘土で粘土細工を作る創作体験を実施した。

期 日 6月18日(土) 11:00~15:00

場 所 第7展示室前

参加者数 113人

### ●第3回ワークショップ

#### 「ゴンドラ型飛行船を作ろう！」

紙や空き缶を利用した飛行船を作る工作。各自木の粉の特殊粘土を溶いて塗る創作体験を実施した。

期 日 7月16日(土) 13:00~15:00

場 所 第2アトリエ

講 師 小杉莊八氏

参加者数 69人

### ●第4回ワークショップ

#### 「モノレールを楽しもう！小さな美術めぐりの旅」

千葉都市モノレール整備工場の見学と、企画展「近代陶芸の精華宮之原謙」関連として、陶芸家神谷紀雄氏の工房を訪ねる旅を実施した。

期 日 11月26日(土) 13:00~15:00

場 所 千葉都市モノレール整備工場、神谷紀雄氏陶芸工房

参加者数 25人

## ■鑑賞教室むじやキック

展示に即した鑑賞学習と創作体験を同時に味わえる事業として、ケンビーおもしろ鑑賞教室「むじやキック」を開催している。この活動は3年目を迎え、こどもに親しまれる美術館として定着している。

### ●第1回むじやキック

#### アート・コレクション「ガラスの彩り」関連イベント 『きらめき彩り・ガラス絵に挑戦！』

期 日 6月4日(土) 13:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者数 105人

### ●第2回むじやキック

#### アート・コレクション「石井雙石」関連イベント 『芸術の秋・スタンピングコレクション！』

期 日 9月18日(土) 13:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者数 67人

### ●第3回むじやキック

#### アート・コレクション「書の美」関連イベント 『墨と遊ぼう！墨っ子星人あらわる！？』

期 日 2月11日(土) 13:00~15:00

場 所 第7展示室

参加者数 38人

## ■実技講座

### 陶芸講座(応用)

期 日 4/20(水)・21(木)・22(金)・23(土)・5/10(火)・19(木)(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 神谷紀雄氏

受講者数 21人

内容 基本的な陶芸の知識・技能を修得した者が一人一作品を基本とし、より高度な技能を修得した。

### 陶芸講座(基礎)

期 日 5/24(火)・25(水)・26(木)・6/8(水)・14(火)・23(木)(6日間、講師指導日数は6日間)

講師 神谷紀雄氏

受講者数 30人

内容 焼成・絵付け・薬掛けなどの制作過程から、用具の取扱いや陶芸の基本的な技法を修得した。

#### 銅版画講座(ホリデーアート)

期 日 7/2(土)・3(日)(2日間、講師指導日数は2日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 14人

内容 銅版画を通して、版画の持つ魅力を味わい、凹版画の基礎的な技法や幅広い表現力、創作力を修得した。高校生、勤労者も参加できるよう土・日曜に設定した。

#### 版画講座

期 日 9/14(水)・15(木)・20(火)・21(水)・22(木)・23(金)・24(土)・27(火)・28(水)・29(木)(10日間、講師指導日数は7日間)

講 師 上田靖之氏

受講者数 14人

内容 木版画や銅版画を通して版画の魅力を味わい、凸版画や凹版画の基礎的な技法や幅広い版画の表現力、創作力を修得した。

#### 金工講座

期 日 1/17(火)・18(水)・19(木)・20(金)・24(火)・25(水)・26(木)・27(金)・31(火)・2/1(水)(10日間、講師指導日数は7日間)

講 師 小林正利氏

受講者数 13人

内容 銅板レリーフと彫金の制作を通して、各種工具の取扱い方を学習するとともに、金工の基本的な技法を修得した。

#### 篆刻講座

期 日 2/14(火)・15(水)・16(木)・17(金)・18(土)・28(火)(6日間、講師指導日数は6日間)

講 師 細谷恵志氏

受講者数 12人

内容 陶印を通して、篆刻の魅力を堪能し、基本

的な技法や用具の取り扱い方を修得した。

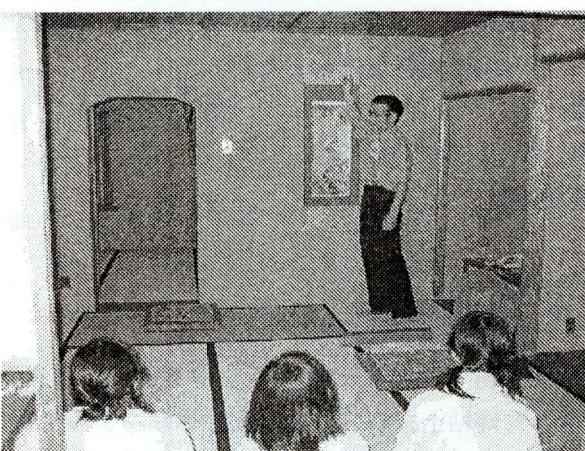
### ■一日学芸員体験

平成14年度より施行されている新学習指導要領の趣旨に鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童・生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるための事業として実施した。

内容は、午前は美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見学、そして実技Ⅰとして野外彫刻の点検及び鑑賞をし、それをまとめて発表会を行った。午後からは、実技Ⅱとして、美術工芸品の壺、掛け軸の取り扱いと保管の仕方を和室で行った。

●参加学校数 中学校15校、高等学校7校

参加生徒数 170名



### ■教師のためのアートガイダンス

美術館・学校との連携による体験学習講座を行い、新学習指導要領に示された学校の図工・美術・芸術教育等における美術館利用の促進及び学校教育推進に資するために、教師のためのアートガイダンスを行った。

期 日 8月11日(木)第1部 9時～12時

第2部 13時～16時

場 所 研修室、和室、第2アトリエ、講堂、展示室

対象 小・中・高等学校の担当教員

参加者数 101人

## ■学校巡回展

県内公立小・中学校生徒を対象に、身近なところで優れた美術品を鑑賞できる機会を提供するため、「美術館がやってきた」をテーマに、名画の複製画を巡回展示し、児童・生徒の情操のかん養に資するため実施する。今年度は同時期に移動展(県立美術館コレクション展)が行われている関係で、ギャラリートークを安房博物館にておこない、本物に触れることにより絵画に親しむ機会を提供する。そのための導入として展示予定作品の複製画を巡回するものとした。

### ●館山市立西岬小学校〈巡回展〉

期 日 11月1日(火)～12月12日(月)

参加者数 126人

(ギャラリートーク)

期 日 11月15日(火)

参加者数 126人

### ●千葉市立若松小学校〈巡回展〉

期 日 11月11日(金)～12月21日(水)

参加者数 769人

## ■美術めぐりの旅

県内外の各地に残された古今の優れた美術品等を訪ねることにより、美術への興味、関心を深め、美術館の活動の充実化及び利用促進を図ることを目的として開催した。

期 日 9月17日(土)

場 所 大山千枚田、画家ゆかりの宿 江澤館、  
浅井純介氏陶芸工房、小松寺、海岸美  
術館

参加者数 35人



## ■情報資料室

開館日の13時～16時に開室し、美術情報資料(図書、雑誌、図録、新聞等)の利用に供した。また、各地の展覧会やイベントについて、資料室前のロビー等でポスター、チラシ、情報資料室等により、美術情報を提供した。

なお、17年度の収蔵図書については、128冊の寄贈を受け、美術情報資料の充実を図った。

区分	16年度まで	17年度	計
美術総記	1,896	11	1,907
絵画	1,718	25	1,743
彫刻	281	2	283
工芸	408	5	413
書	200	0	200
版画	159	7	166
デザイン・建築	91	1	92
写真・映像	201	0	201
その他	112	6	118
雑誌(合冊・復刻)	639	61	700
一般 図書	563	10	573
合 計	6,268	128	6,396

区分	16年度まで	17年度	計
購入図書	3,228	0	3,228
寄贈図書	3,040	128	3,168
合 計	6,268	128	6,396

## ■活動協力

### □千葉県立美術館友の会

#### 1. 目的

“みる・かたる・つくる”という美術館活動に積極的に協力し、楽しい雰囲気のなかで、教養を豊かにし、美術文化の向上を図り会員相互の親睦を深める。

#### 2. 組織

- (1)会員数 個人会員418人、賛助会員1人  
(2)役員 会長1人、副会長3人、監事2人、理事若干名

3. 事業	講 師 竹久秀樹氏 受講者数 34人
(1)友の会だより「しおさい」の発行、年4回各 1,000部印刷し、会員に配布した。	
(2)第30回葉美会展の開催 会期 平成17年9月6日(火)～9月11日(日) 出品者 57人 展示点数 100点	洋画入門講座 5 期 日 7/26(火)・27(水)・28(木)・29(金) (4日間)
(3)秋の美術鑑賞の旅 美術品や文化財を訪ねながら、親睦を深める ために実施した。 期日 平成17年10月13日(木) 場所 旧白洲邸武相荘、世田谷美術館分館向 井潤吉アトリエ館、菊池寛実記念智美 術館、旧岩崎邸庭園 参加者数 39人	講 師 御園正男氏 受講者数 15人
(4)館事業への協力 ミュージアムグッズの販売、実技講座の開催 等、県民アトリエ事業に積極的に参加した。	洋画入門講座 6 期 日 8/3(水)・4(木)・5(金)・17(水)・18(木) ・19(金) (6日間)
(5)その他 テレフォンカード、絵葉書、額縁、額絵、図 書等の販売	講 師 池田敏男氏 受講者数 25人
4. 平成17年度友の会実技講座	洋画入門講座 7 期 日 8/24(水)・25(木)・26(金) (3日間)
洋画入門講座 1 期 日 5/21(土)・22(日)・28(土)・29(日)・6/4 (土)・5(日) (6日間)	講 師 松澤茂雄氏 受講者数 33人
講 師 根岸茂行氏 受講者数 21人	洋画入門講座 8 期 日 11/12(土)・13(日)・19(土)・20(日)・26 (土)・27(日) (6日間)
洋画入門講座 2 期 日 6/8(水)・9(木)・10(金)・22(水)・23(木) ・24(金) (6日間)	講 師 根岸茂行氏 受講者数 32人
講 師 羽生智樹氏 受講者数 33人	洋画入門講座 9 期 日 11/23(水)・24(木)・25(金) (3日間)
洋画入門講座 3 期 日 7/2(土)・3(日)・9(土) (3日間)	講 師 松澤茂雄氏 受講者数 30人
講 師 根岸茂行氏 受講者数 23人	洋画入門講座 10 期 日 12/1(木)・2(金)・3(土) (3日間)
洋画入門講座 4 期 日 7/13(水)・14(木)・15(金)・20(水)・21 (木)・22(金) (6日間)	講 師 松澤茂雄氏 受講者数 32人
	洋画入門講座 11 期 日 1/25(水)・26(木)・27(金) (3日間)
	講 師 松澤茂雄氏 受講者数 32人
	洋画入門講座 12 期 日 2/19(日)・25(土)・26(日) (3日間)

講 師 根岸茂行氏  
受講者数 30人

洋画入門講座13  
期 日 3/1(水)・2(木)・3(金)・8(水)・9(木)  
・10(金) (6日間)

講 師 羽生智樹氏  
受講者数 32人

日本画入門講座  
期 日 9/7(水)・8(木)・9(金)・14(水)・15(木)  
・16(金) (6日間)

講 師 斎藤惇氏  
受講者数 21人

## ■博物館実習

各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れた。

平成17年8月4日(木)～8月9日(火)

筑波大学(1人)、 女子美術大学(2人)、  
千葉大学(5人)、 東京女子大学(1人)、  
東京工芸大学(3人) (5大学12人)

## ■ボランティアについて

美術館の活動をより円滑で充実したものとするために、情報資料室レファレンス(ボランティア)およびワークショップ準備実践(ワークショップサポート)のボランティアを募集し、活動した。登録者数、ボランティア12人、ワークショップサポート8人。

## ■美術館講座

平成15年度から、博学融合の理念に基づき、千葉県立八街高等学校の設置する総合学科の授業の充実に協力するため、美術館と高校が相互連携して「美術館講座」を開設した。4月から美術館の学芸職員7名が一年間をとおして、当該講座選択者15名の指導のため当該高校に出向いたり、生徒が美術館で実際の学芸員の仕事を体験したりした。

当講座の内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の収蔵作品の中から生徒個々が興味・関心のある作品を選定し、調査・研究を行い、情報の発信の仕方や美術工芸品の取り扱いを体験し、最後にその成果を発表する展覧会を開催するというものである。



1月13日(金)～1月15日(日)に本館にて当該高校生による展覧会「浅井忠とバルビゾン派の作品展」を開催し、1月14日(土)に来館者を前に受講生一人一人が、自分が選んだ作品についてギャラリートークを行った。



## 美術館講座－展覧会と年間計画－

この講座は、カリキュラムの中での学芸員の仕事の習得を通して、美術館の社会的な役割や美術文化に対する関心を高めることや情報を発信する能力を養い、生涯にわたって美術を愛好する心情を醸成することを目的としている。そして、展覧会は1年間実施した「美術館講座」の締めくくりとして以下のような内容で開催した。また、1年間の授業内容は別表の通りである。

展覧会名称	浅井忠とバルビゾン派の作品展～高校生の解説～
会期	平成18年1月13日(金)～15日(日) 3日間
会場	第6展示室
点数	15点

### 展示作品

1 浅井 忠	藁屋根	1887頃	キャンバス・油彩
2 浅井 忠	小丹波村	1893	キャンバス・油彩
3 アントニオ・フォンタネージ	十月、牧場の夕べ	1860	キャンバス・油彩
4 ギュスターヴ・クールベ	雪の中の小鹿	1869頃	キャンバス・油彩
5 ギュスターヴ・クールベ	嵐	1865頃	キャンバス・油彩
6 コンスタン・トロワイヨン	河辺の道	1860-1865	キャンバス・油彩
7 シャルル・エミール・ジャック	森の中	1871	キャンバス・油彩
8 シャルル・フランソワ・ドービニー	ヴァルモンドワの小川	1844	キャンバス・油彩
9 シャルル・フランソワ・ドービニー	オワーズ川のほとり	1865	キャンバス・油彩
10 ジャン・バティスト・カミーユ・コロー	フォンテンブルーの風景	1830-1835頃	キャンバス・油彩
11 ジャン・バティスト・カミーユ・コロー	ナポリ近郊の思い出	1860-1865	キャンバス・油彩
12 ジャン・フランソワ・ミレー	垣根に沿って草を食む羊	1860頃	キャンバス・油彩
13 ジュール・デュプレ	森のはずれ	1860代	キャンバス・油彩
14 ジュール・デュプレ	嵐の前	不詳	キャンバス・油彩
15 テオドール・ルソー	バルビゾンの農場	1850-1855	キャンバス・油彩

平成17年度「美術館講座」年間計画

学期	月	担当日	予定時数	時 間	内 容	担当課	場 所	備考		
一 学 期	4	13日	6	2	・美術館講座ガイダンス	学芸課	八街高校			
		20日		2	・千葉県立美術館の概要と施設見学	普及課	県立美術館			
		27日		2	・美術館の役割及び収蔵作品について（講義）	学芸課	(研修室等)			
	5	11日	5	2	「展覧会をつくる」①課題把握・資料の調査	学芸課				
		18日		2	・調査対象資料の決定・調査研究資料の収集	学芸課				
		中間考查		2	・資料及び作家の調査研究	学芸課				
		1日		1	・資料及び作家の調査研究	学芸課	八街高校	午前		
	6	6日（月）	8	2	・資料解説パネル作成	学芸課				
		22日		2	・資料解説パネル作成	学芸課				
		29日		2	・資料及び作家のパネル・キャプション作成	学芸課				
	7	4日（月）	3	1	・ギャラリートーク原稿作成	学芸課		午前		
		期末考查		1	・ギャラリートーク原稿作成	学芸課		午前		
		答案返却		1	・原稿提出	学芸課		午前		
計		2 2	夏季課題／他館の展覧会鑑賞及びレポート作成							
二 学 期	8	7日	6	2	・夏季課題レポート発表・ガイダンス資料確認	学芸課	八街高校 (コンピューター室等)			
		14日		2	「展覧会をつくる」③構想	普及課				
		21日		2	・展覧会企画及び役割分担・展覧会名の決定	普及課				
	9	5日	7	2	「展覧会をつくる」④準備					
		12日		2	・チラシ・ポスター等の作成	普及課				
		中間考查		1	・チラシ・ポスター等の作成	普及課		午前		
		26日		2	・チラシ・ポスター等の作成	普及課				
	10	9日	8	2	・チラシ・ポスター等の作成及び配布計画	普及課				
		16日		2	・ワークシート等作成	普及課				
		22日（火）		2	・ワークシート等作成	普及課		午前		
		30日		2	「展覧会をつくる」⑤学芸・普及実践 ・美術工芸品の取り扱いと保管	普及課	千葉県立美術館 (和室)			
	11	期末考查	2	1	・ワークシート等作成	普及課	八街高校			
		答案返却		1		普及課		午前		
計		2 3								
三 学 期	1	11日	10	6	・展示作業・展覧会開催 1/13(金)～15(日)	学芸課	県立美術館 (研修室等)	年度末考 查3年生		
		※18日		4	・「ギャラリートーク」1/14(土) 14時～	普及課				
		※25日		0						
	2	1日	2	2	・美術館講座最終レポート作成、発表	普及課	八街高校			
		※22日		0						
	3	年度末	0	0				午前		
		答案返却		0				午前		
計		1 2								
合 計		5 7	法定時数 35週×2単位 = 70時間							

□ 調査・収集事業 □

## ■平成17年度貸出資料一覧

作家名	作品名	展覧会名	会期 会場	申請者(貸出先)
安井曾太郎	熱海附近	安井曾太郎展	17.4.16~6.5 宮城県美術館 17.6.11~7.31 桃城県近代美術館 17.8.6~9.25 三重県立美術館	宮城県美術館 桃城県近代美術館 三重県立美術館 東京新聞事業局
山谷鏨一 〃 〃	風 風 遊弋〔魚と遊ぶ海女〕	山谷鏨一95歳の回顧展	17.4.15~5.29 松山庭園美術館	松山庭園美術館
大久保作次郎	お茶どき	50回記念新世紀展	17.5.9~5.19 東京都美術館	新世紀美術協会
桜井忠剛 〃	薔薇 二十日会日誌	桜井忠剛展	17.5.17~6.8 尼崎市総合文化センター	尼崎市総合文化センター
神谷紀雄	鉄絵銅彩あやめ紋大鉢	いすれ菖蒲か杜若 -水辺の花の物語-	17.5.28~6.26 千葉県立大利根博物館	千葉県立大利根博物館
鈴木章	七面鳥	昭和初期彫刻の鬼才たち	17.6.18~7.18 福井市美術館 17.9.11~10.2 宇都宮美術館 17.10.29~1.15 札幌芸術の森美術館 17.1.28~2.26 松戸市博物館	福井市美術館 宇都宮美術館 札幌芸術の森美術館 松戸市博物館
浅井 忠 〃 〃 〃 山谷鏨一 時田直善 小堀 進 不破 章 若木 山 鶴田吾郎 林 倭衛 小山周次 桜田精一 佐々木一郎 前島 実	漁婦 房州白浜 房州白浜 房州波太村 風 貝採り 夕風 白い砂 安房の海処女 波上海女図 海女 網うつ男 真夏の海(太海) 海(白浜) 風の日の海辺 太海 跳子犬吠埼 太海 漁村(洋-784) 九十九里初夏	描かれた海辺の風景	17.7.8~9.4 千葉県立安房博物館	千葉県立安房博物館
五百城文哉	日光	五百城文哉展	17.7.16~8.28 東京ステーションギャラリー	財団法人 東日本鉄道文化財団
黒田重太郎 〃 〃	浴後 女と小犬 街風景	没後35年 黒田重太郎展	17.8.20~9.25 滋賀県立近代美術館 17.11.5~12.11 佐倉市立美術館	滋賀県立近代美術館 佐倉市立美術館
石井柏亭	老太々 聖フランチエスコ寺院	90回記念二科回顧展	17.9.13~9.19 松坂屋上野店 17.10.19~10.31 高島屋大阪店 17.11.23~12.11 松坂屋美術館	社団法人二科会 産経新聞大阪本社
鈴木方鶴 〃 〃 〃 〃	一笑千山青 壺中日月長 天真爛漫 登樓萬里春 華下一壺酒	渡辺沙鷗と近代日本の書 鈴木方鶴のまなざし	17.9.3~10.23 成田山書道美術館	成田山書道美術館
浅井忠 〃	新編自在画臨本 改訂浅井自在画臨本	庭園植物記	17.9.3~11.6 東京都庭園美術館	東京都庭園美術館



■ 収蔵資料数一覧（平成18年3月31日現在）

《収蔵資料》

受入方法 種別	購 入	寄 付	保管替	合 計
日本画	128	173	25	326
洋画	352	501	42	895
彫刻	83	49	11	143
工芸	149	228	10	387
書	110	142	14	266
版画	175	76	5	256
合計	997	1,169	107	2,273

《研究資料》

研究資料	244	1,265	52	1,561
------	-----	-------	----	-------

■平成17年度収蔵資料一覧

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	受入方法	寸法 縦×横×奥行(cm)
1	藤田 潤	縮	1991	ガラス	寄付	11.0×径66.0
2	藤田 潤	印象	1993	ガラス	寄付	10.5×65.0×62.0
3	藤田 潤	風の道	1995	ガラス	寄付	50.0×21.0×28.0
4	藤田 潤	風の道	1997	ガラス	寄付	52.0×24.0×23.0
5	藤田 潤	杜の風	1999	ガラス	寄付	52.0×30.0×16.0
6	藤田 潤	風の道	2000	ガラス	寄付	51.0×31.5×21.0
7	松原道男	鳴たちのいる	1997	紙・着彩	寄付	180.0×217.0
8	大浦掬水	ベカ舟	1971	紙・着彩	寄付	89.0×174.0
9	大浦掬水	雪の街角	1980	紙・着彩	寄付	130.0×190.0
10	国吉幸舟	大伴家持詩	2002	紙・墨	寄付	133.5×138.1
11	石川 韶	天地交響(ボロブドール)	1984	紙・着彩	寄付	235.0×172.0
12	石川 韶	渚の祈り	1992	紙・着彩	寄付	176.0×220.0
13	石川 韶	小湊の朝	1999	紙・着彩	寄付	64.0×88.0
14	松本弘二	海鹿島の夏	1951	キャンバス・油彩	寄付	91.0×116.7
15	松本弘二	満潮の頃	1958	キャンバス・油彩	寄付	130.3×162.1
16	秋元松子	秋の花籠	1978	キャンバス・油彩	寄付	118.3×130.3
17	秋元松子	静物	1981	キャンバス・油彩	寄付	90.9×116.7
18	秋元松子	枯葉の詩	1994	キャンバス・油彩	寄付	118.3×130.3
19	木村和一	花と虫	1937	染色	寄付	幅30.0
20	木村和一	梅の花	不詳	染色	寄付	30.0×37.2
21	寺本美茂	からまつ林の詩	1978	彫金	寄付	35.3×35.0×16.5
22	寺本美茂	萃象(象嵌壺)	1984	彫金	寄付	28.0×径21.5
23	寺本美茂	陽春飾壺	1992	彫金	寄付	36.0×径20.0

## □ 管理運営 □

（ふくしま）の文化政策の実現に貢献するため、県民の皆様へ、また、県外の方々へ、福島の文化を発信するための運営方法を定めたものです。

## □ 運営方針 □

（ふくしま）は、県民のための美術館として、明るい親しまれる美術館。

学校教育・社会教育との関連から、教育普及活動を重視し、楽しく学べる美術館。

県民と美術家との交流の場とし、相互の理解と向上を図る美術館。

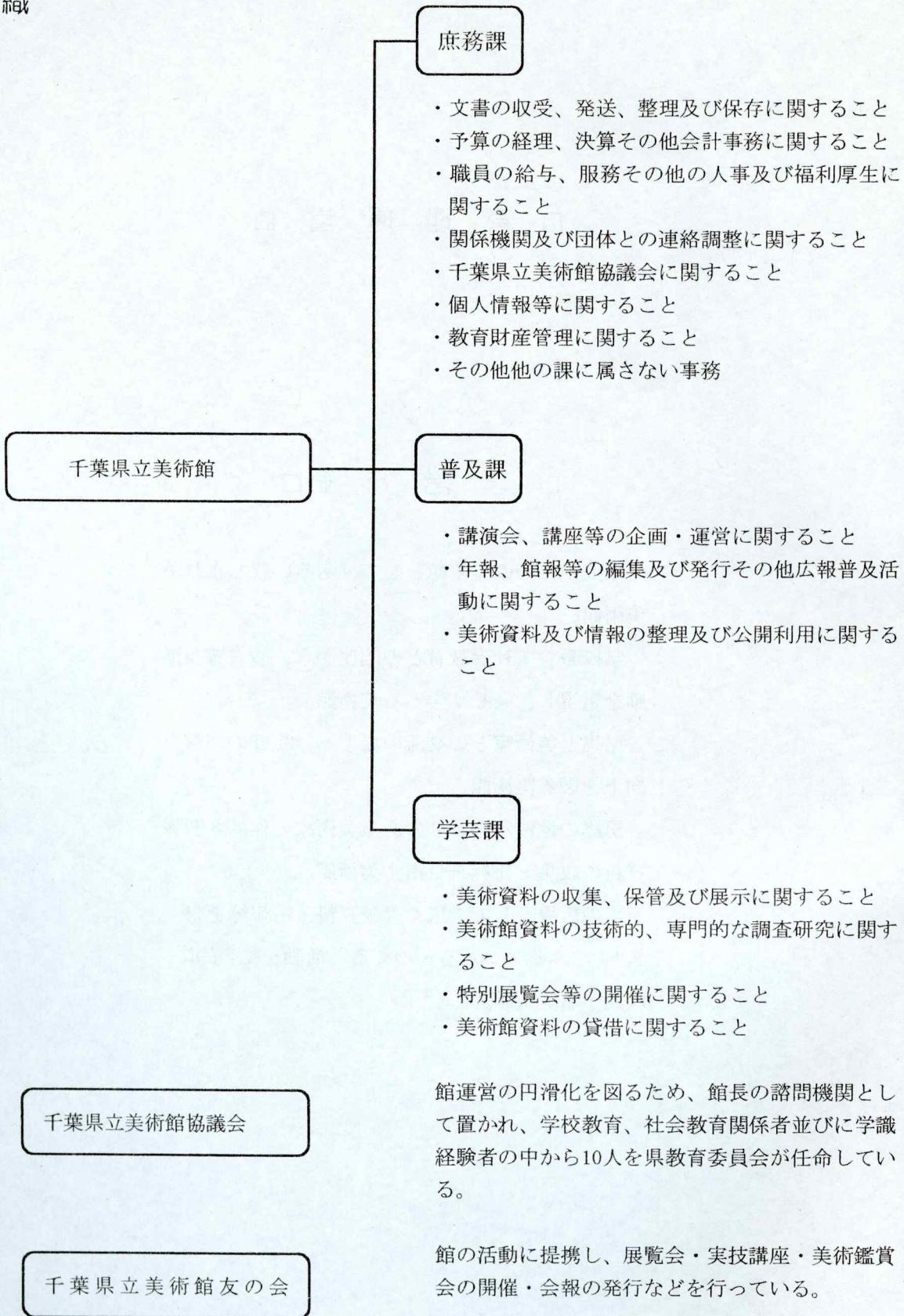
房総の地にかかわりのある美術家の作品と関係資料の収集・研究を目指す美術館。

美の広場として、広く美術資料・情報等を収集し、“みる・かたる・つくる”活動を総合的に展開する美術館。

（ふくしま）美術館立県条例

（ふくしま）市立美術館

## ■組 織



■平成17年度職員

■県立美術館協議会委員（五十音順）

(任期 平成17年7月1日～平成18年3月31日)

館 長	米 田 耕 司	秋 田 敏 彰	(株)総合ビジョン代表取締役社長
副 館 長	野 村 仁	門 倉 武 夫	東京国立文化財研究所名誉研究員
副 館 長	藤 川 正 司	川 津 幸 枝	全日本書芸文化院常任理事
主 幹	前 川 公 秀	篠 崎 輝 夫	千葉県美術会会长
		竹 内 順 一	東京藝術大学大学美術館長
庶務課		中 村 千鶴子	前四街道市社会教育委員
主 査(派)	川 端 康 子	西 村 美和子	千葉県経営者協会地域経済委員会委員
副 主 査(〃)	濱 谷 隆 行	濱 田 清	千葉市立千城台東小学校長
〃 (〃)	山 本 恵美子	増 田 真 一	千葉県立美術館友の会事務局長
主任用務員(〃)	長 島 則 子	村 山 元 信	総合教育センター所長

普及課	大久保 守	丸 山 徳 日	浜 田 純 子	荒 井 喜代美	中 松 れ い
上席研究員(派)					
〃 (〃)					
〃 (〃)					
〃 (〃)					

学芸課	金 田 雅 成	高 橋 覚	石 崎 千津子
上席研究員(派)			
〃 (〃)			
〃 (〃)			

## ■利用状況

平成17年度入館者数一覧表

開館 日数	入館者 計	個 人										
		計	有 料			無 料						
			計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他	
4月	26	5,936	5,778	929	886	43	4,849	2,182	58	231	2,230	148
5月	26	11,097	10,933	1,207	1,125	82	9,726	4,479	217	645	3,834	551
6月	26	8,234	8,064	948	904	44	7,116	3,309	82	387	2,615	723
7月	27	8,793	8,746	923	876	47	7,823	3,229	126	1,249	2,773	446
8月	26	11,399	11,333	1,427	1,336	91	9,906	3,227	738	2,208	3,002	731
9月	26	8,469	7,843	1,065	982	83	6,778	2,918	230	669	2,646	315
10月	21	13,694	13,180	443	426	17	12,737	7,012	125	347	4,967	286
11月	25	13,749	13,011	229	225	4	12,782	6,626	506	815	4,574	261
12月	23	30,402	30,169	669	646	23	29,500	10,807	119	8,784	7,652	2,138
1月	23	6,045	5,870	810	763	47	5,060	2,632	107	196	1,982	143
2月	24	7,997	7,257	1,168	1,055	113	6,089	2,582	280	882	1,588	757
3月	27	6,793	6,513	1,371	1,313	58	5,142	2,695	127	429	1,620	271
計	300	132,608	128,697	11,189	10,537	652	117,508	51,698	2,715	16,842	39,483	6,770

開館 日数	団 体										団体数		
	計	有 料			無 料								
		計	一般	高・大生	計	一般	高・大生	小・中生	65歳以上	その他			
4月	26	158	100	100	0	58	33	0	0	25	0	3	
5月	26	164	58	58	0	106	8	26	0	69	3	5	
6月	26	170	18	13	5	152	15	0	0	87	50	5	
7月	27	47	7	7	0	40	0	0	0	40	0	2	
8月	26	66	20	20	0	46	18	0	20	8	0	17	
9月	26	626	45	45	0	581	50	0	103	426	2	11	
10月	21	514	63	63	0	451	293	0	0	158	0	13	
11月	25	738	15	15	0	723	332	0	79	312	0	16	
12月	23	233	29	29	0	204	31	0	109	64	0	7	
1月	23	175	0	0	0	175	10	0	25	140	0	4	
2月	24	740	35	11	24	705	78	0	105	11	511	12	
3月	27	280	103	103	0	177	4	0	51	122	0	8	
計	300	3,911	493	464	29	3,418	872	26	492	1,462	566	103	

その他 = (就学前児童) + (心身障害者)

開館以来 総開館日数 9,213日 総入館者数 5,265,116人

## ■展示室利用団体

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
1 第21回千葉県日本水彩展	4/5 ~10	洋画	210
2 第75回郷陽会展	4/12 ~17	洋画	353
3 第19回コクリコ会展	4/12 ~17	ガラス絵	60
4 第19回千葉水彩展	4/19 ~24	洋画	77
5 第31回m s b 2005 c h i b a 展	4/26 ~5/1	日本画・洋画・デザイン・立体・その他	51
6 第32回千葉新協展	4/26 ~5/1	洋画	182
7 第31回貌展	4/26 ~5/1	洋画・彫刻・工芸・写真	55
8 第31回歩会彫刻展	4/26 ~5/8	彫刻	47
9 第36回表美展	5/3 ~8	表装・額装・屏風	75
10 カラーダスト展	5/3 ~8	洋画	49
11 第45回千葉アマチュア美術会展	5/10 ~15	日本画・洋画・彫刻・俳画・工芸・書・写真・版画	1,410
12 第29回墨の県展	5/17 ~22	水墨画・洋画・写真	426
13 第50回二科会千葉支部展	5/24 ~29	洋画	673
14 第32回千虹会日本画展	5/24 ~6/5	日本画	65
15 第52回千葉県書道協会展	6/7 ~12	書	515
16 第8回千葉多摩美会展	6/14 ~19	日本画・洋画・デザイン・彫刻・工芸・写真・その他	69
17 第28回千葉一陽展	6/14 ~19	洋画	122
18 第20回日本画四季展	6/14 ~26	日本画	68
19 千葉幼児美術展	6/14 ~19	絵画・その他	1,200
20 第27回新槐樹社千葉県支部展	6/21 ~26	洋画・工芸・その他	67
21 第33回水彩連盟千葉支部展	6/28 ~7/3	洋画	60
22 〈明日を拓く〉教育美術展	6/28 ~7/3	絵画	168
23 精銳展	6/28 ~7/3	洋画	103
24 第49回千葉県小中学校書写展覧会	7/5 ~10	書	800
25 第50回千葉二紀会展	7/5 ~10	洋画	83
26 第16回千葉県木彫会展	7/5 ~10	彫刻	49
27 第37回千葉市水墨画同好会連合会展	7/12 ~24	水墨画	482
28 第34回写真千葉県展	7/26 ~8/7	写真	299
29 第37回習美会初夏大作展	7/26 ~31	日本画・洋画	281
30 第39回漱雲会全国書道展	7/26 ~31	書	346
31 第一美術協会第37回千葉県支部展	8/2 ~7	日本画・洋画・工芸	146
32 千葉県盲聾養護学校作品展	8/2 ~7	洋画・デザイン・彫刻・工芸・書・写真・立体・その他	387
33 第35回いてふ会彫刻展	8/9 ~21	彫刻	104
34 第34回千葉硯心会書展	8/16 ~21	書	43
35 第22回「美しい郷土」絵画コンクール優秀作品展	8/23 ~28	絵画	684
36 第15回太平洋美術会千葉支部展	8/23 ~28	洋画・彫刻・工芸	177
37 なの花書道展	8/23 ~28	書	169
38 第45回白扇書道会展	8/30 ~9/4	書	2,611
39 第43回新世紀千葉支部展	9/6 ~11	洋画	74
40 千葉県高等学校総合文化祭第38回合同写真展	9/6 ~11	写真	511
41 葉美会展	9/6 ~11	日本画・洋画	83
42 第37回ファンシー洋画展	9/13 ~19	洋画	46

展覧会名	利用期間	展示内容	出品点数
43 第52回千葉県勤労者美術展	9/13 ~19	洋画・書・写真	220
44 第28回千葉県写真展	9/13 ~25	写真	200
45 第55回千葉デザイン展2005	9/21 ~25	デザイン	104
46 第35回新構造千葉県支部展	9/21 ~25	洋画・工芸・写真	112
47 第28回等迦会千葉県支部展	9/27 ~10/2	洋画	61
48 第22回中央美術協会千葉支部展	9/27 ~10/2	日本画・洋画	141
49 第25回二科会写真部千葉支部展	9/27 ~10/2	写真	65
50 第16回千葉県教育芸術祭	10/4 ~10	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・その他	1,024
51 第57回千葉県美術展覧会	10/15~11/6	日本画・洋画・彫刻・工芸・書	2,777
52 第17回千葉県高等学校総合文化祭 「美術工芸書道作品展」	11/9 ~20	日本画・洋画・彫刻・デザイン・工芸・書・その他	2,644
53 第37回千葉現展	11/22~27	日本画・洋画・デザイン・工芸・立体	64
54 第32回文化書道千葉県連合会公募展覧会	11/22~27	書	343
55 伝統工芸陶葉会展	11/22~27	陶芸	87
56 第50回こども県展	11/29~12/11	絵画	9,283
57 亜細亜太平洋水墨画公募展	12/13~18	日本画	450
58 第41回登龍社書初展	1/5 ~9	書	278
59 千葉県立幕張総合高等学校書道展	1/5 ~9	書	90
60 第33回富士百景写真展	1/11 ~15	写真	97
61 千葉日報書道展	1/17 ~22	書	482
62 第2回千葉国際美術展	1/24 ~29	書・水墨画・立体・その他	243
63 第23回千葉県医師会美術展	1/24 ~29	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真	94
64 群鷗書人展	1/31 ~2/5	書	47
65 第21回書星選抜展	1/31 ~2/5	書	220
66 第58回千葉県小中高校書き初め展覧会	1/31 ~2/5	書	406
67 第31回子ども造形展	2/7 ~12	絵画・デザイン・その他 洋画・彫刻・デザイン・工芸 ・その他	2,000
68 千葉大学教育学部美術科図工科卒業制作展	2/14 ~19	洋画・彫刻・デザイン・工芸 ・その他	20
69 千葉大学教育学部第40回学生書道展	2/14 ~19	書	152
70 ダネラ展	2/14 ~19	工芸	41
71 第35回千葉県大学美術連盟展	2/21 ~26	洋画・立体・その他	67
72 第17回日本童謡の書展	2/21 ~26	書	1,744
73 第31回千葉県民写真展	2/28 ~3/5	写真	699
74 第11回翔洋展	3/7 ~12	洋画	46
75 第9回平成美術会展	3/7 ~12	洋画	190
76 第29回唱和会書展	3/14 ~19	書	131
77 第53回書星教育部展	3/21 ~25	書	1,026

39,128

## ■施設

この建物は、幾つかの建設候補地の中から、千葉港に隣接した臨海埋立地の一角に計画された。計画着手当時はこの付近は訪れる人も少なく、海を通して石油基地のタンク群や工場と煙を吐き出す煙突が望める環境であった。

このような当初の環境下で、空気汚染、降下煤塵そして塩害など、建物に与える悪影響が予測されるために、材料の選択、構法、空調計画等は十分な検討がなされた。以下、主な部分について記す。

### 外壁の打込みタイルー先積ブリック工法

従来の外壁をコンクリートで表現している建物とは異なり、炻器質タイルを型枠代にしてコンクリートを一体に打ち込む工法を用いた。

使用したタイルは従来の断面と異なり、コの字型の断面をしており、型枠にセットせずモルタルにて積上げられるように見込み寸法を5cmの厚みにしてある。

施工方法は、内型枠、配筋工程の次のタイルを積み5段毎に型枠のホームタイを通り、2,400mm程度まで積み上げ单管にて固定する。この2,400mmの高さは、設計段階での試作実験にて安全を確認した数値である。試作段階での支保工は、縦方向に角材を400ピッチに通し、横方向に单管を480ピッチに通し固定したが、施行時は、縦方向に单管を480ピッチに通して固定した。コンクリートの打設は、1.5m～2.0m/hの速度を目標に行い、ポンプにて打設可能な程度までスランプを下げた。この工程を繰返しタイル壁面を構成していった。

タイル面の施工時の汚れ防止には、ふのりを塗布した。タイルの目地は積み上げる工程で仕上げられ、表面に表われない目地の空隙にコンクリートのノロが滲み込んでゆき、目地からの滲透水を防げ満足する状態に仕上がった。

### 屋根の天然スレート

前述のような環境のもとで、勾配屋根に適し、十分にもちこたえられる材料としては耐候性鋼等が考えられたが、調査の結果により天然スレートを使用した。

### 空調計画

計画当初より、良好とはいえない外部環境から美術品をいかに保護するかが、海浜に建つ美術館として、ひとつの重要なテーマだった。外気取入れは、内部に自動巻取りフィルター、中性能フィルター、脱臭フィルターの3種類の空気清浄フィルターを組込んだ外気処理器を通して供給されている。

展示棟はCAV（定風量型）+VAV（可変風量型）方式により計画されている。わが国の美術館は、平常の館内利用者に対して特別展や団体展等のときに非常に利用者がふえて、発熱負荷の変動が大きくなる。VAV方式は、こ

ういった条件に対して非常に効果的であるといえる。

管理棟は、エネルギーの省力化にも役立つVAV方式を採用し、収蔵庫は、露点再熱制御方式により二つの条件の異なる収蔵庫を2台の空調機で空調されている。

### 照明計画

展示壁面は、自然光源と人工光源により全体計画されている。

自然光源は展示棟の高窓から取り入れられ、外部の構型ガラスと内部の紫外線吸収のアクリル拡散板を経て壁面に達する。しかし、太陽直射光の鉛直面照度は8時から15時の間で10%の時間が80,000lx以上、30%の時間が

50,000lx以上、50%の時間が25,000lx（平均）以上、90%の時間が5,000lx以上という測定値があり、また水平面照度にしても50,000lx（薄暗）から5,000lx（曇天）の範囲と非常に明るい。このように必要以上に明るい光源は、調光通路内に設けられた2枚の電動スクリーン（これは、計算値により鉛直面照度60,000lx以上の条件のとき必要な枚数で、それぞれ異なった透過率を有する布を使用した）にて基準の壁面照度になるよう調光される。

計算値による通過率をもつクロスでの何回かの現場実験の結果、クロスは白地のポリエステル（通過率53.6%）と黒地のジョーゼット（通過率35%）の2枚を採用した。ここで留意すべき点は、クロスの遮光性能を良くするために、厚地の布や、コーティングされた布を使用すると壁面に色がつくことがある。壁面の照度分布の状態は、視覚的に均一な壁面が確保できた。

曇天・雨天に対しては、蛍光灯と白熱灯を補助照明として設置した。蛍光灯と白熱灯を併用したのは、演色性を高めるためである。

第1、2展示室は、すべて蛍光灯と白熱灯による人工光源で計画されている。壁面照度は、最高200lxに押えてある。

固定ケースは基準照度を180lxに設定した。照明方法は、全面アルミルーバーの天井ふところに蛍光灯を2本並列させ、その間に白熱灯2個を配置した。

（設計及び工事監理者）

大高建築設計事務所

（施工者）

建築：（株）竹中工務店

設備：空調＝東洋熱工業（株）

衛生＝第一管工事（株）

電気＝関東電気工事（株）

備品：天童木工、山口木工、佐々木ブラインド

（都市計画地域指定）

用途地域：準工業地域

（規模・面積）

敷地面積 33,057.87m<sup>2</sup>

建築面積 8,777.94m<sup>2</sup>

延床面積 10,663.57m<sup>2</sup>

展示棟 6,343.02m<sup>2</sup>

管理棟	2,818.89m <sup>2</sup>
県民アトリエ棟	1,501.66m <sup>2</sup>
駐車台数	97台
<b>(工期及び建設経費)</b>	
(1) 第1期工事 (展示棟) 5,194.59m <sup>2</sup>	
(建築面積5,102.35m <sup>2</sup> )	
○工 期	昭和47年9月20日～昭和49年3月31日
工事費	775,967千円
本体工事	425,230千円
電気設備工事	79,663千円
空調設備工事	166,493千円
給排水衛生設備工事	28,995千円
外構工事	67,705千円
ガス工事	7,881千円
(2) 第2期工事 (管理棟)	2,274.60m <sup>2</sup>
(建築面積1.089.50m <sup>2</sup> )	
○工 期	昭和50年3月1日～昭和51年2月20日
工事費	453,800千円
本体工事	307,500千円
電気設備工事	30,000千円
空調設備工事	79,000千円
給排水衛生設備工事	19,514千円
外構工事	17,786千円
(3) 第3期工事 (県民アトリエ)	1,501.66m <sup>2</sup>
(建築面積1,449.34m <sup>2</sup> )	
○工 期	昭和54年3月22日～昭和55年2月29日
工事費	370,000千円
本体工事	265,300千円
電気設備工事	35,000千円
空調設備工事	56,200千円
給排水衛生設備工事	13,500千円
○工 期	昭和55年12月25日～昭和56年3月24日
工事費	8,000千円
外構工事	8,000千円
(4) 第4期工事 (第8展示室)	1,148.43m <sup>2</sup>
収蔵庫544.29m <sup>2</sup> ) 1,692.72m <sup>2</sup>	
(建築面積1,136.75m <sup>2</sup> )	
○工 期	昭和62年7月11日～昭和63年8月31日
工事費	747,500千円
本体工事	476,000千円
電気設備工事	81,000千円
空調設備工事	171,000千円
給排水衛生設備工事	19,500千円
総工事費	2,355,267千円

### 工期別面積一覧

区分	地階	1階	2階	塔屋	合計
第1期	325.04	4,750.79	61.00	57.76	5,194.59
第2期	—	1,185.10	1,089.50	—	2,274.60
第3期	—	1,403.15	98.51	—	1,501.66
第4期	15.46	1,132.97	544.29	—	1,692.72
合計	340.50	8,472.01	1,793.30	57.76	10,663.57

### 〈概要〉

建物

### 【階数】

地下1階、地上2階、塔屋1階建

### 【高さ】

基礎底：GL— 5.00m

高さ：GL+15.20m

### 【構造】

主体構造：鉄筋コンクリート造

屋根：鉄骨造

主鋼材：SS41及び高張力鋼

コンクリートの種類

A種・普通コンクリート(基礎・地中梁・1階スラブ)

$F_c = 210 \text{kg/cm}^2$

B種・軽量コンクリート(梁・スラブ用・地上部)

$F_c = 300 \text{kg/cm}^2$

C種・軽量コンクリート(地上部躯体でAB以外の梁

・壁など)  $F_c = 240 \text{kg/cm}^2$

### 〈設備〉

#### 【電気設備】

受電方式：交流3相3線式6,000V 50Hz

電話交換方式：64回線デジタル交換機方式

#### 【空調設備】

展示棟=CAV(定風量型)+VAV(可変風量型)方式

管理棟=VAV方式

保管庫=露点再熱制御方式

県民アトリエ棟=各室ハンドリング方式

熱源：空気熱源スクリュー熱回収ヒートポンプ方式

#### 【衛生設備】

給水：ポンプ圧送方式、引込み管径75mm

排水：汚水・雑排水合流方式系統(管径300)、雨水  
系統(管径300)別、公設本管へ放流

#### 【防災設備】

排煙方式：自然排煙・機械排煙(第1、2、7展示室)

消火方式：屋外・屋内消火栓、不燃性ガス消火設備(ハロゲン1301)

自家発電：ディーゼル機関直結交流発電機、定格出力  
100kVA

## 展示棟

## 【その他の設備】

防犯設備：ITVカメラ設備、防犯警報装置

昇降機設備：荷物用エレベーター

規模：容量3,000kg

カゴ内法=3,000mm×3,000mm×3,000mm  
速度30m/min

玄関ホール	102.40 m <sup>2</sup>
クローケ	91.80 m <sup>2</sup>
倉庫A	2.70 m <sup>2</sup>
倉庫B	2.70 m <sup>2</sup>
第1展示室	437.76 m <sup>2</sup>
第2展示室	400.32 m <sup>2</sup>
第3展示室	469.08 m <sup>2</sup>
第4展示室	403.20 m <sup>2</sup>
第5展示室	824.19 m <sup>2</sup>
第6展示室	330.58 m <sup>2</sup>
第7展示室	566.56 m <sup>2</sup>
第8展示室	864.61 m <sup>2</sup>
食堂	119.52 m <sup>2</sup>
厨房	36.00 m <sup>2</sup>
従業員控室	17.28 m <sup>2</sup>
食堂ホール	49.20 m <sup>2</sup>
ミュージアムショップ	12.00 m <sup>2</sup>
ロビ	335.52 m <sup>2</sup>
第1休憩室	23.04 m <sup>2</sup>
第2休憩室	23.04 m <sup>2</sup>
第3休憩室	23.04 m <sup>2</sup>
便所A	30.24 m <sup>2</sup>
便所B	23.76 m <sup>2</sup>
身障者用便所	7.92 m <sup>2</sup>
コントロール室	20.16 m <sup>2</sup>
フィルター室	28.92 m <sup>2</sup>
工作室	31.00 m <sup>2</sup>
発電気室	25.00 m <sup>2</sup>
電気室	123.20 m <sup>2</sup>
ポンプ室	76.80 m <sup>2</sup>
機械室	305.20 m <sup>2</sup>
機械室(新)	283.82 m <sup>2</sup>
高架水槽室	11.46 m <sup>2</sup>
E.V機械室	27.28 m <sup>2</sup>
E.V廻り	54.56 m <sup>2</sup>
ダクトスペース	35.68 m <sup>2</sup>
廊下等	123.48 m <sup>2</sup>

計 ① 6,343.02 m<sup>2</sup>

## 管理棟

(1階)	
第 2 会 議 室	22. 62 m <sup>2</sup>
更 衣 室	14. 38 m <sup>2</sup>
医 務 室	21. 18 m <sup>2</sup>
書 庫	22. 02 m <sup>2</sup>
警 備 員 室	43. 59 m <sup>2</sup>
第 1 会 議 室	20. 15 m <sup>2</sup>
倉 庫	7. 19 m <sup>2</sup>
湯 沸 室	5. 19 m <sup>2</sup>
便 所	24. 54 m <sup>2</sup>
宿 直 室	34. 20 m <sup>2</sup>
物 置	9. 92 m <sup>2</sup>
用 務 員 室	31. 83 m <sup>2</sup>
審査室・資料準備室・荷解室	520. 68 m <sup>2</sup>
消 毒 室	31. 79 m <sup>2</sup>
資 料 倉 庫	124. 25 m <sup>2</sup>
荷 解 盒 包 室	52. 67 m <sup>2</sup>
荷 扱 人 室	21. 94 m <sup>2</sup>
機 械 室	51. 74 m <sup>2</sup>
廊 下 等	123. 97 m <sup>2</sup>

小 計 1, 183. 85 m<sup>2</sup>

## 県民アトリエ棟

1 F 機 械 室	25. 92 m <sup>2</sup>
講 堂 倉 庫	8. 64 m <sup>2</sup>
講 堂	259. 24 m <sup>2</sup>
コ ン ト ロ ー ル 室	30. 33 m <sup>2</sup>
ホ ー ル 側 便 所	29. 97 m <sup>2</sup>
情 報 資 料 室	172. 77 m <sup>2</sup>
情 報 資 料 室 倉 庫	4. 70 m <sup>2</sup>
事 務 室	22. 76 m <sup>2</sup>
研 修 室	74. 70 m <sup>2</sup>
研 修 室 倉 庫	4. 23 m <sup>2</sup>
第 1 ア ト リ エ	155. 70 m <sup>2</sup>
第 2 ア ト リ エ	184. 31 m <sup>2</sup>
第 3 ア ト リ エ	95. 47 m <sup>2</sup>
ア ト リ エ 側 便 所	20. 77 m <sup>2</sup>
荷 解 室	25. 65 m <sup>2</sup>
窯 場	27. 17 m <sup>2</sup>
窯 場 倉 庫	6. 66 m <sup>2</sup>
ホ ー ル そ の 他	352. 67 m <sup>2</sup>

計 ③ 1, 501. 66 m<sup>2</sup>

合 計 10, 663. 57 m<sup>2</sup>

(① + ② + ③)

## (2階)

館 長 室	33. 27 m <sup>2</sup>
副 館 長 室	23. 42 m <sup>2</sup>
第 1 応 接 室	14. 67 m <sup>2</sup>
第 2 応 接 室	14. 55 m <sup>2</sup>
庶 務 課 室	112. 34 m <sup>2</sup>
会 議 室	43. 84 m <sup>2</sup>
学芸課・普及課室	195. 32 m <sup>2</sup>
学芸相談室	23. 91 m <sup>2</sup>
研究工作室	216. 49 m <sup>2</sup>
写真スタジオ	54. 30 m <sup>2</sup>
器 材 室	6. 74 m <sup>2</sup>
暗 室	12. 19 m <sup>2</sup>
第 1 収 藏 室	184. 40 m <sup>2</sup>
第 2 収 藏 室	42. 81 m <sup>2</sup>
第 3 ・ 4 収 藏 室	544. 29 m <sup>2</sup>
E . V 前 室	16. 39 m <sup>2</sup>
便 所	21. 50 m <sup>2</sup>
湯 沸 室 A	3. 24 m <sup>2</sup>
リ B	6. 87 m <sup>2</sup>
廊 下 等	60. 94 m <sup>2</sup>
ダ ク ト ベース そ の 他	3. 56 m <sup>2</sup>

小 計 1, 635. 04 m<sup>2</sup>

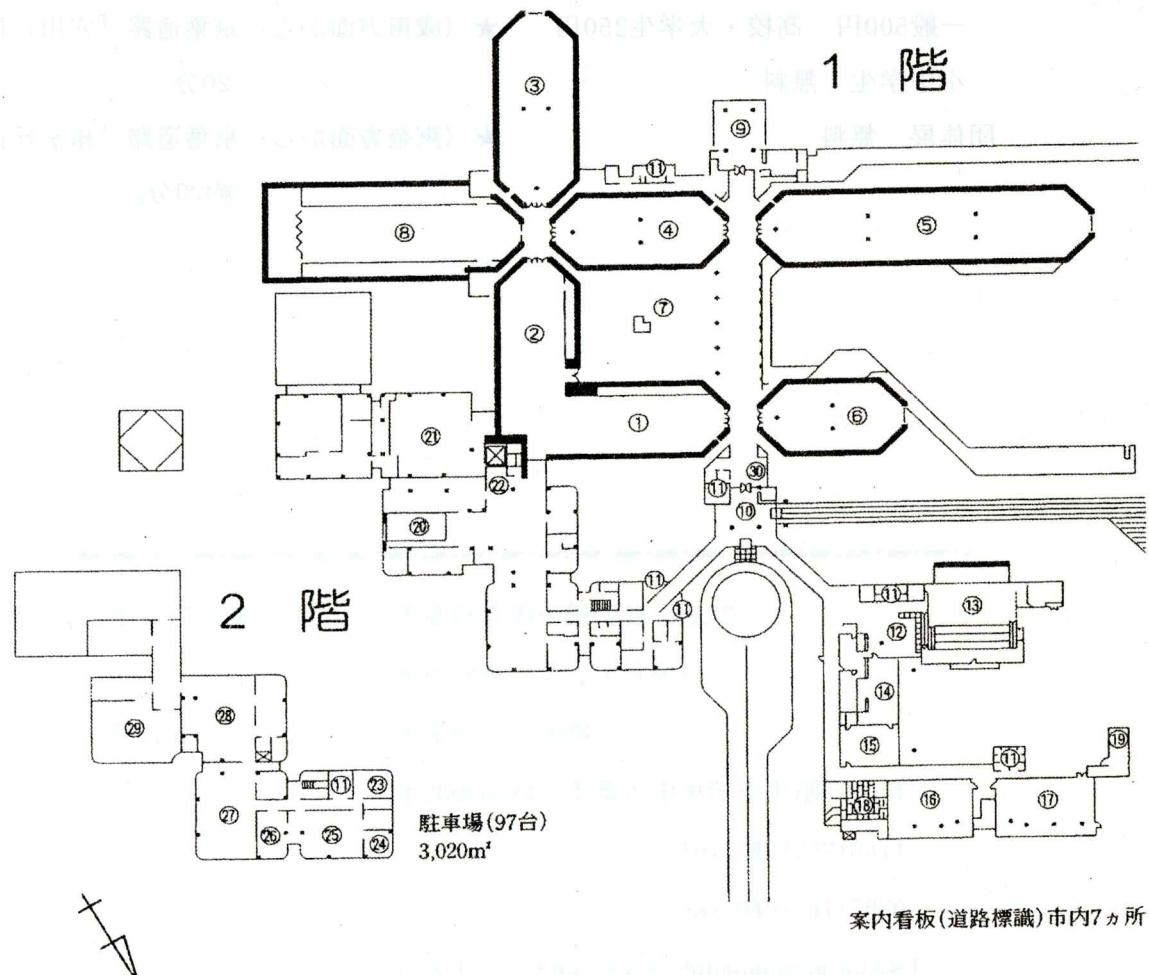
計 ② 2, 818. 89 m<sup>2</sup>

## （参考）

\* 展示室総面積 4, 296. 30 m<sup>2</sup>  
\* 収蔵庫総面積 771. 50 m<sup>2</sup>

内 容

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ① ~ ⑧ 展示室       | ⑯ ~ ⑯ 実技室      |
| ⑨ 食堂 (44席)      | ⑯ 窯場           |
| ⑩ 玄関ホール         | ⑰ 搬出入口         |
| ⑪ トイレ<br>男子用6ヶ所 | ⑱ 機械室          |
| 女子用6ヶ所          | ⑲ エレベーター       |
| 身障者用2ヶ所         | ⑳ 館長室          |
| ⑫ ホール           | ㉑ 副館長室         |
| ⑬ 講堂 (200人)     | ㉒ 庶務課          |
| ⑭ 情報資料室         | ㉓ 会議室          |
| ⑮ 研修室 (40人)     | ㉔ 学芸課・普及課      |
|                 | ㉕ 研究工作室        |
|                 | ㉖ 収蔵庫          |
|                 | ㉗ ミュージックアムショップ |



## 平成17年度利用案内

### ■開館時間

開館時間 午前9時から午後4時30分

休館日 ・月曜日(ただし、月曜日が祝日のときは開館し、翌日休館)  
・年末年始(12月28日～1月4日)  
・展示替え等のため、必要があるとき。

入場料 常設展  
一般300円 高校・大学生150円

小中学生 無料

企画展

一般500円 高校・大学生250円

小中学生 無料

団体展 無料

### ■交通

- ★JR(京葉線)・千葉都市モノレール  
「千葉みなと」駅下車、徒歩8分
- ★JR「千葉」駅・京葉線「京成千葉」駅下車  
●徒歩23分
- バス⑫番乗り場から「千葉ポートタワー」行にて15分。「美術館・中央郵便局前」下車、徒歩1分。
- ★〈東京方面から〉東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分。
- ★〈成田方面から〉京葉道路「穴川」I.Cから約20分。
- ★〈東金方面から〉京葉道路「松ヶ丘」I.Cから約20分。

平成17年度

千葉県立美術館年報（No.32）

平成18年 7月1日発行

発行者

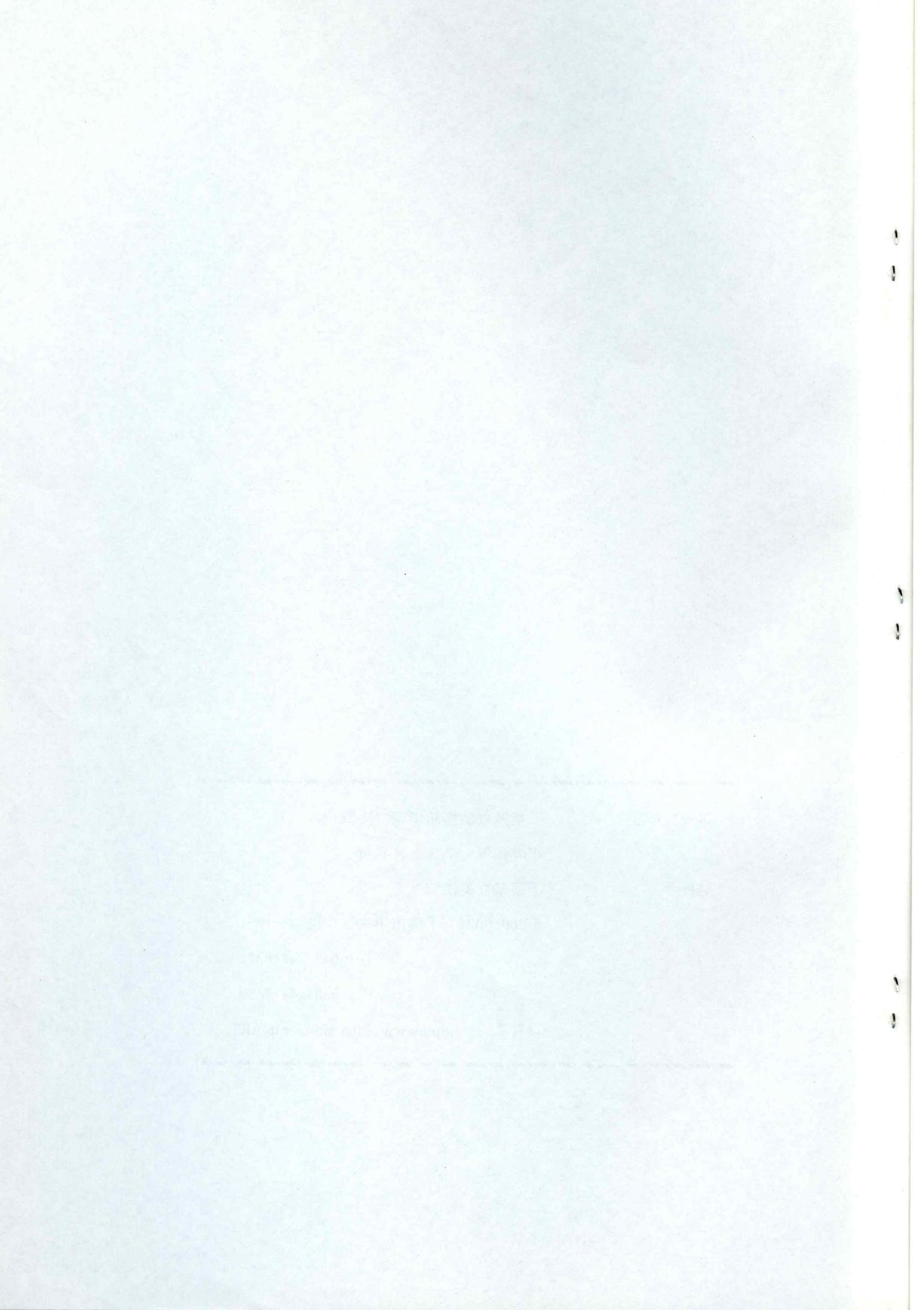
千葉県立美術館

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1

Tel 043(242)8311

Fax 043(241)7880

U R L <http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>



Classic DFG, 3 mm for 16-30 sheets  
[www.bindomatic.com](http://www.bindomatic.com)

505

